新京日日新聞
夕刊
五月一日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 / 廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)二二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

滿・獨貿易協定 正式調印を締結

細部は六月初旬關係筋に通告

外交部當局談發表

昨年末獨逸經濟使節キープ博士一行の來滿を機とし、其後東京に在つて滿洲國側松島農務司長、加藤通商科長等は滿獨貿易協定に關し折衝を續けて來たが四月三十日正午外務省に於て滿洲國代表謝大使と獨逸代表キープ博士との間に正式調印締結された、右に關し一日午前十一時外交部では左の如く當局談を發表した

外交部當局談＝滿獨間貿易に從事せる商社に新規便益を供與し滿獨間貿易を增進する目的を以て獨逸國東亞經濟使節を通じて今回滿洲國關係官憲と獨逸國外國爲替管理局との間に一の貿易協定が締結された

右協定の內容中當業者に周知せしむるの要ある部分に就ては六月初旬該協定實施の爲に必要なる諸準備が整ひ次第滿獨貿易關係筋に通告される筈である

該協定の締結に際しては滿獨貿易の現在組織に對する一切の干涉若は統制を避くると共に他方滿獨貿易に從事する凡ての商社が從來通取引業務を續行し且つ該協定により供與せらるべき新規便益を受け得る様均等なる機會を與へることに就き特別の注意が拂はれて居る

皇帝陛下 鐵道協會總會出席者に賜謁

【大連國通】滿洲國皇帝陛下におかせられては鐵道協會第卅三回總會出席のため來滿せる者の中從四位勳三等有位帶勳者に對し第一班は四日、第二班は十四日夫々賜謁の御沙汰あらせられた、尙滿鐵では九日夜第一班、第二班が大連に到着するのをまつて總裁の招待宴を行ひ十日總會終了後協和會館にて滿鐵撮影の映畫「草原漠河」「京濱ゲージ變更」「秘境熱河」の三篇を映寫する筈である

大藏省發表 新公債發行條件

【東京國通】大藏省發表＝政府は來る六月一日付を以て、昭和十三年度及昭和十四年度迄に期限の到來する五分利國庫債券合計四億五百余萬圓の第二回定期借替を行ふこととし借替のために發行する新公債の條件を左の通り決定した

發行總額 四億一千三百萬圓
利率 三分五厘
期限 昭和廿四年六月一日
發行價格 九十八圓
利廻 復利三分六厘九毛五絲 單利三分七厘二毛八絲
發行方法 日銀引受

尙日銀は乘替希望者に對し前例により優先的に賣却の需めに應ずる筈である

雄基、淸津兩港 無償貸付 卅日附發令

【東京國通】雄基、淸津兩港の海陸連絡設備を滿鐵に無償貸付けをなす勅令案は去る廿四日の閣議に於て決定、廿八日上奏御裁可を經たので、卅日附官報勅令を以て發令された

勅令第六十號—南滿洲鐵道株式會社が昭和八年勅令第二五八號に依り委託を受けたる鐵道の運輸に關聯して雄基港及淸津港に於ても海陸連絡運輸のため必要ある時は朝鮮總督は同會社に對しその管理に屬する官有財產を無料にて貸與し又は使用せしむることを得

附則

本令は公布の日より之を施行す(四月二十八日附)

四月下旬の對外貿易概算

【東京國通】大藏省發表＝四月下旬內地及外地對外貿易概算左の如し(單位千圓)

輸出 八〇・六七七
輸入 九七・六二三
合計 一七八・三一九
入超 一六・九四五
一月以降累計入超 二六四・三二六

尙ほ同旬內地重要品輸出入額左の如し

△輸出
小麥粉 五二四
罐瓶詰食糧品 一・二八五
綿織糸 一・五七五
生糸 七・〇四〇
綿織物 一三・七五六
絹織物 一・九二〇
人絹織物 四・四二〇
莫大小製品 一・一二八

△輸入
小麥 一・三二五
豆類 二・一九六
原油及重油 五・五五一
棉花 三六・九九二
羊毛 一〇・五一〇
鐵 四・三二七
機械類 五・三六九
木材 一・三〇〇

三井合名新陣容

【東京國通】三井合名では卅日午後より社員總會を開催、停年制に依る首腦部の異動に關し協議を行つた結果、常務理事池田成彬氏は卅日限り隱退する事となり、相談役有賀長文、福井菊三郎兩氏も停年制の精神を汲み自發的に辭任する事となり、從來二名の常務理事を一名增員して三名とし、之が筆頭には南條金雄氏が居据り、金子堅次郎、[illegible]田勝之助兩氏がこれを輔けて首腦部の新陣容を形成、理事は廣島外藏氏が辭任する事となつたが藤井市三郎氏は都合上期間を限つて留任に決定した尙理事一名缺員の補充には現調査部長福島喜三次氏が昇格して調査部長を兼任する事となり、參與理事米山梅吉、牧田環兩氏及び顧問盛田孝氏が留任する事となつた

第五次拓務省移民 調査隊派遣

拓務省第五次特別農業移民團は目下日本內地に於て編成中であるが今夏又は秋頃其先遣隊の入滿をみる豫定で、民政部拓政司では右移民地を決定する爲都甲第一科長を隊長とする調査隊を派遣し、約三週間に亘り調査を行はしめ入植の爲の準備を行ふ事となつたが、更に第六次移民入植地についても目下調査を行ふ筈、尙調査隊は都甲隊長を除き五月三日新京發現地に向ふ

東上の板垣參謀長

關東軍の增强問題審議

明年度より具現か

【東京國通】卅日夜上京した板垣關東軍參謀長は一日より五日迄參謀長會議の開催される迄は參謀本部並に陸軍省に登廳して閑院參謀總長宮殿下を始め奉り寺內陸相、西尾參謀次長、梅津次官等陸軍中央部首腦當局と會見して滿ソ、滿蒙方面國境の情勢、ソヴイエトの極東軍備の狀況等を詳細報告して關東軍の充實强化問題に關する關東軍の要望を提示して今後の關東軍の增强問題に關する具體的審議を行ふものと觀られ注目されるがその結果は明年度以降陸軍國防充實計畫の一部として現はれる事になるが、同中將は今回の上京には幕僚の坂西大佐花谷中佐、專田少佐の三參謀を帶同し來れるところよりするも其使命は重視されてゐる

五月一日を期し 稅關分關設置 全滿十四個所に

財政部では五月一日より左記十四個所に稅關分關を設置する事となつたが、今次の分關設置の理由は新京に於ては保稅倉庫設置への準備であり、長城線喜峰口に於ては分關の國境第一線への進出を意味して居り、大連稅關管下の瓦房店分關新設は鹽密輸の取締りを强化するものである、しかして其他の地に於る分關、分卡の廢合は貿易情勢の變遷に應じた調整を意味してゐる

▲大連稅關旅順分關 關東州旅順市▲大連稅關莊河分關 安東省莊河縣城▲大連稅關瓦房店分關 奉天省復縣城▲哈爾濱稅關滿洲里分關 興安省滿洲里市▲哈爾濱稅關綏芬河分關 濱江省東寧芬河▲哈爾濱稅關新京分關 新京特別市▲安東稅關臨江分關 安東省臨江縣城▲營口稅關奉天分關 奉天省奉天市▲圖們稅關龍井村分關 間島省延吉縣龍井村▲圖們稅關琿春分關 間島省琿春縣城▲承德稅關古北口分關 熱河省灤平縣古北口▲承德稅關喜峰口分關 熱河省靑龍縣喜峰口▲山海關稅關葫蘆島分關 錦州省錦西縣葫蘆島▲山海關稅關西海口分關 錦州省錦縣西海口

李杜の敗殘兵 ソ聯でも逐はれ遂に支那へ

【上海一日發國通】去る昭和八年一月九日廣瀨部隊の人見枝隊の猛擊に本據密山を逐はれ逃げ場を失ひ虎林よりソ領に遁入した反滿軍李杜所屬兵士一千名はその後ソ聯領內を轉々として流浪しソ聯側の壓迫と失業から極度の生活困難に陷り救ひを支那に求めつつあつたが、漸く僅かの旅費を支給されて支那に赴くこととなり近くウラヂオから上海に送られることとなつた

招魂祭祭典 植田軍司令官祭文

植田軍司令官は卅日招魂祭々典に當り護國の英靈に對し左の如き祭文を獻げた

祭文

維時昭和十一年四月卅日關東軍司令官兼特命全權大使陸軍大將植田謙吉謹みて護國の英靈に告ぐ

惟ふに諸士は皇謨宣布の第一線に立ちて或は劍電彈雨の中を馳驅して死を鴻毛の輕に比し或は酷暑邪寒を凌ぎ極度の困苦缺乏に堪え、或は起居の不便と衞生の不備を克服して危險の地に終始心身を緊張す、而も終に或は敵彈に死し或は病魔に犯されて斃る、忠誠壯烈眞に鬼神をして泣かしむべく實に諸士は日本帝國々策遂行の礎石と稱すべし

今や新興滿洲國は國礎愈々固く其の建國の理想に向ひ着々發展の道程を辿り國際聯盟の決議にも拘らず列國は事實の上に滿洲國の獨立を認めつゝあるの情勢となる、諸士は以て瞑すべきなり、況んや我肇國の皇謨に基く滿洲國の發展は必ずや悠久にして諸士が英名は之れと共に永く竹帛に垂れん庶くば在天の英靈永く日滿兩國の爲め冥助を垂れんことを

昭和十一年四月卅日
關東軍司令官特命全權大使 植田謙吉

滿洲棉花協會 北支開發に乘出す! 新しく別個の協會を設立して

【奉天國通】滿洲棉花協會では北支方面に於ける棉業の有望性に鑑み早くより北支に進出を企圖し目下調査員三名を派遣し種々調査を爲さしめてゐるが同調査員の歸來を待つて愈々具體的方針を進める筈であるが、北支進出の大體の方針としては棉花協會とは事實上別個の協會を設立し北支棉業開發指導に專念せしめることとなつてゐる

東滿地方で 官鹽普及乘出

【圖們國通】昨年二月以降本年一月迄の最近一ヶ年間の圖們の食鹽消費量は三四八、五九六斤、人口三萬四千五百九十人に對比すると一人十斤の割合となつて居るが、食鹽必需量は一人一ヶ年十七斤を普通とするを以て此間に七斤の開きがあり、此の七斤の開きこそは密輸私鹽の流れ込みであり、消費鹽の四十一パーセント迄は峻烈な取締りの目をかすめて潛入する私鹽である輯私隊、辨事處等では極力之を防止して官鹽の普及に努める事となつた

千葉八十四氏 四平街榮轉

滿鐵新京地方事務所社會係次席として國都の社會事業に多大の努力を拂つた千葉八十四氏は三十日附四平街地方事務所社會主事に榮轉不日赴任することゝなつた、同氏は明治大學法科專門部出身にして九ヶ年間鐵道省教化社會體鐵道靑年會主事として社會事業の研究を積まれ昭和九年九月滿鐵入社直ちに新京地方事務所社會係次席として着任前社會主事野村茂理氏の片腕となり貢獻尠からず今回の榮轉は各方面から惜まれてゐる

久住分隊長送別會

奉天憲兵隊副官に榮轉した前新京附屬地分隊長久住健三郎氏の送別會は一日午後六時半から曙に於て武田所長、猪苗代署長主催にて開催されるから多數出席を希望すると

天長節夜會賑ふ

新京總領事館の天長節夜會は滿洲事變後中絕してゐたが今年は復活主なる居住官民百數十名を招待午後六時から奉祝宴を催し、主人中野領事の挨拶に對し武田地方事務所長來賓を代表して謝辭を述べ韓特別市長の發聲で天皇陛下萬歲を三唱、歡談二時間餘で撤宴したが非常な盛會であつた

後藤大佐自決 部下不正の責任感から

【大連國通】伊東本部隊發表 砲兵〇隊長陸軍砲兵大佐後藤和儀氏は駐滿期間中に發生せる部下經理官の不正事件(目下取調中)につき部下に對する監督指導不充分なる結果光輝ある大隊の名譽を汚し、日歡呼に迎へられて凱旋するに忍びずとの責任感から二十七日午前九時五十分大連關東陸軍倉庫別館に於て自決した

遺書

【大連國通】赫々たる武勳を殘し凱旋の途上大連關東倉庫で部下監督不行屆きの責任を感じ自決した後藤大佐は部下及び[illegible]遺書を殘してゐたが、遺族に三通の遺書を殘してゐたが一般部下への遺書は次の如く武人の面目躍如たるものがある

自己の不德不明と指導監督不行屆きの爲榮譽ある〇隊の歷史に最大の汚點を印し乍ら恬然として〇隊の先頭に立ち萬歲歡呼に迎へらるは武人のとる所に非ざるを以てハルビン出發前幾度か意を決したるも諸種の事情に阻害せられて遷延したるは遺憾とする所である、然れども沿道殊に大連に於る歡迎を受け思を內地に寄する時歡迎の大なるを思ひ總ての責任を果す爲自決して不明を謝す、小官の行爲が〇國の凱旋の門出を汚したる事を重ねて深謝す

〇隊長 後藤和儀

二日凱旋

【大連國通】故後藤大佐の遺骸は廿八日大連に於て茶毘に附したが、遺骨は二日出帆の定期船で悲しく凱旋する事になつた尙同大佐は愛知縣出身で今年五十二歲である

滿洲國人事

大達國務院總務廳長の秘書官は卅日左の如く決定した

任國務院總務廳秘書官 佐枝常一

人事往來

▲今村少將(關東軍參謀副長)一日午前大連より
▲于滿洲國侍從武官 同
▲高柳保太郎氏(英文滿報社長)同
▲田崎關東軍獸醫部長 同
▲長谷川大佐 同チチハルへ
▲熊野保一氏(製藥業)一日午前來京國都ホテル
▲綱野一布氏(會社員)同
▲天方健一氏(中銀)四月三十日午後市內へ
▲坂本一夫氏(三井物產)同大連へ
▲町田萬二郎氏(吉林領事館員)同來京國都ホテル
▲竹內可吉氏(關東軍顧問)三十日國都ホテル假寓
▲酒井弘氏(關東軍司令部)國都ホテルへ
▲荒木哲雄氏(滿鐵)同
▲小松久雄氏(原組)同
▲渡邊淸氏(會社員)同
▲原松一氏(ハルビン憲兵隊)同來京名古屋ホテル
▲馬場龜雄氏(土木業)同
▲佐山直氏(辯護士)同
▲兒玉貫一氏(防長新聞社長)同
▲中西達夫氏(滿洲國官吏)同
▲今吉均氏(同)同
▲佐藤邦男氏(憲兵大尉)同
▲野村正一氏(同少尉)同
▲谷鶴藏氏(會社員)同ハルビンへ
▲中山克己氏(會社員)同
▲益子五郎氏(滿洲國官吏)同海拉爾へ
▲河內由藏氏(滿洲國官吏)同來京ヤマトホテル
▲野口三郎氏(紡績會社)同
▲山田三郎太氏(會社員)同
▲石川正作氏(同)同
▲辻信次氏(獸醫)同奉天へ
▲伊藤精七氏(東京商工會議所)同內地へ
▲松永榮介氏(貿易協會員)同ハルビンへ
▲蔭山正三氏(同)同
▲閻濱江省長 同
▲出光佐三氏(滿洲國門司名譽領事)同
▲荻原一郎氏(會社員)同
▲安藤中將 同奉天より

團體

▲東洋拓殖會社員 一日午後一時五十二分ハルビンより新京、同八時大連へ

乳房ある悲み (七十二)

(禁上演上映)
中西伊之助
泉武久 畫

明日に生きる人々(二)

『いや、さうぢやない、實は却つて僕は君達に謝罪しなければならないんだ、あの大垣を極力推薦したのは僕だ、そして君達が應援してくれたんだ、しかし彼奴が當選してからの態度を見て僕はすつかり失望した。けれど君等の前で僕がどうして、大垣の墮落を暴露される、僕はたゞ卑怯にも現代政治家のたのむに足りないのを罵倒したばかりだつたんだ、それを今君達から指摘されるのをきくと、僕は實に赤面する、諸君は僕を許してくれたまへ』

と、一宮はいつた。

『なあに、そんな詫びが要るもんか、僕等でも大垣重雄を信じて運動したんだ、政界に淸節三十年を持してゐたんだからね』

『いや、現代政治家の淸節三十年なんてことは全く當にはならないよ、僕等はもう決して既成政治家を信用してはならないぜ』

一宮は、しみぐいつた。

『さうだ、僕等はもう英雄を信じてはならない、科學を信じるんだ』

『それで君達はどうしようといふんだ?』

と一宮は三人にきいた。

『僕等は、村で新しい運動を起す計畫をしようと思ふんだS町に日本小作組合の支部があるから、僕等は村の小作人に運動して、そこへみんな加盟させようと思つてゐるんだ……』

『それには、地方の靑年に信用のある君が、かへつて來て運動して貰ひたいんだ』

『君、村の無產者のためだ、是非かへつて來て奮鬪してくれ給へ』

三人は交々一宮を促した。

『解つた、僕は今しばらく勉强したいと思つてゐたが、しかし今はもうそんなことをいつてはゐられない……きつとかへる』

一宮は、深くうなづいた。

一宮の歸鄕を承諾させた靑年は、意氣揚々とかへつて行つた。

一宮は、廊下に出て、ぼんやりと黃昏て行く空をながめてゐた。

喬は二三日前から田舍へ採集旅行をしてまだかへつて來ない、彼がかへつて來たら、自分の決心を語つて、早速村へかへらうと思つた。

そこへ、玉汝がはいつて來た。

『お兄さま、まだかへつてゐらつしやらないんですか?』

と彼女はきいた。

『えゝ、まだです』

『さう、今度は隨分長いのね……』

彼女は、さういひながら上へあがつた。

『そしてあなたお一人?』

『えゝ、今日、田舍の友達が來たんですが、今かへつて行つたばかりです』

『田舍のお友達?さう何か御用で?』

『えゝ』

『田舍に何か變つたことでもありまして?』

そこへ電燈がついた。玉汝はその下へ坐つた。

『僕はその中、田舍へかへらうと思つてゐるのです』

『まあ、どうして?』

玉汝は美しい瞳を見張つた

『僕は、いつまでかうしたのん氣な勉强なんかしてゐられませんからね』

『お家の御都合でですか?』

『いゝえ、家の方は僕が今のやうに仕送つてやつてゐる方がいゝだらうと思ひますが、僕等無產階級は、いつまでも自分のことばかり考へてはゐられませんからね』

『……』

玉汝はそれをきくと、默つてうなづいた。この頃、新聞や雜誌で見る社會改造思想がすぐもう自分のそばに迫つて來てゐるのだと彼女は思つた……。

午前九時半西公園で 詔書奉讀式擧行
日滿學童數萬の建國体操に 夜は學生雄辯大會
あす宣詔記念日

滿洲國皇帝陛下回ラン訓民詔書奉讀式は二日午前九時半から西公園運動場に於て擧行されるが定刻協和會平島次長の開會の辭について奏樂の指導にて日滿國歌合唱裡に日滿國旗を掲揚、韓市長、武田地事所長訓民詔書を奉讀し韓市長の式辭、日本全權大使、阮文教部大臣の諭話があり在京日滿男女學生數萬の建國體操があつて萬歳三唱閉會、午後六時からは日本側は商業學校講堂滿人側は新京醫院で日滿學生雄辯大會が開かれる、なほ當日雨天の際は詔書奉讀式は順延される

佳き日を記念 新京武道會發會式

訪日宣詔記念日滿武道大會並に新京武道會發會式は三日午前九時半から新京商業學校に於て最も盛大に擧行されるが當日出場選手は今までに決定せるもの

▲柔道—國際AB、滿鐵A、B、C、電々一組、商業學校A、B、新京警察一組、首都警察一組、民政部一組、軍政部一組、司法部一組、實業部一組、新京中學A、B
▲劍道—滿鐵一組、電々一組、新京商業一組、新京警察一組、中央警察學校一組、

で當日は在京武道の猛者が悉く一堂に會するので各方面から多大の期待をかけられてゐる

佐藤囑託 訓民詔書を衍義

來る二日訪日宣詔記念日には各地に於て回ラン訓民詔書の奉讀式が擧行されるが國務院總務廳囑託佐藤知恭氏は詔書の意義を一層徹底させる爲過日來齋戒沐浴して衍義執筆中であつたが愈々脫稿したので一日の政府公報號外を以て發表する事となつた

上原前室町校長へ けふ謝恩式 三日はさて離京

在任まさに十三年、新京教育界に偉大な功績を殘して勇退した上原前室町小學校長に對する一般市民の謝恩式は一日午前九時より室町小學校講堂において武田地方事務所長、鯉沼地方係長、各中、初等學校長、各學校父兄會長、一般父兄等約二百名參列のもとに嚴かに擧行された定刻室町小學校父兄會長栗原正金支店長起つて開式の辭を述べ、ついて同十時終了した、なほ上原氏は三日午前九時發「はと」で郷里鹿兒島に出發する筈(寫眞は謝恩式)

久住憲兵少佐 奉天へ榮轉

新京附屬地憲兵分隊長久住少佐は奉天憲兵隊副官に榮轉來る三日午前七時三十分發列車で赴任に決し三十日暇乞挨拶に來社した

二人組强盗

三十日午後十時十五分ごろ城內永春路和機阿片零賣所へ二人組内一人拳銃一人短刀を所持した覆面强盗が押入り家人を脅迫し國幣六十圓、阿片六百圓を强奪逃走した

兩校修學旅行團 昨日出發

旅大方面修學旅行の新京西廣場小學校六年生百六十八名および室町小學校の七十六名は三十日午後二時四十分發諸訓導引率のもとに賑々しく大連に向つた、兩校とも五月四日午後二時歸校の豫定

米國の鼠小僧 横濱港外で御用

【横濱國通】横濱水上署では廿八日早朝サンフランシスコより入港の米國汽船ゴールドハインド號を港外に襲ひかねて米國政府から手配があつたアメリカ稀代の鼠小僧ハイラス・レーベン・スタイン(四四)を逮捕し身柄を水上署に留置取調べ中だが、同人は昨年加州に於て銀行商店富豪などを片端から荒し廻り約三萬弗の荒稼ぎをなし警官の追跡急を知るや去る二日三百弗を懷中に中米ニカラガ發行の旅券を僞造、ニカラガ人サイバードルリコと稱して乘込み支那方面に逃亡の途中惡運盡きて逮捕されたものである

けふから 兒童愛護週間 "强く正しく愛らしく" 數々の催しもの

五月一日から一週間全滿一齊に行はれる兒童愛護週間の新京の行事は既に發表されたが行事第一子供の會は五月三日午後一時から記念公會堂で開かれるプログラムは第一部藤影幼稚園兒の舞踊四つ、高山社會主事のお伽噺、新京幼稚園 舞踊四つ、第二部黎明舞踊會の唱歌童謠等十六、滿鐵新京吹奏樂團の音樂童謠軍歌四つ等、次ぎは五月四日から九日まで六日間毎日午前八時から午後四時まで祝町滿鐵保健所で"乳兒と幼兒の健康相談"を無料で行はれる、第三は五月五日午前十時半から十二時まで西公園で旗行列と寶探し、參加の方は午前十時半までに新京神社に集合すること、第四は五月七日午前十時から室町小學校講堂で"母の會"を催し滿鐵保健所羽生秀吉博士と武田地事所長の講話がある、この他例年盛況を見せてゐる第七回乳幼兒審査 日から十一年一月三十一日まで出生のもので申込は二日午後四時までに地事社會係へ申込むこと

來る六日は立夏

二日は八十八夜で六日は立夏である八十八夜は立春から起算して八十八日目に當り農業國日本では昔から八十八夜頃になれば降霜が止るので農家はそろ〱種蒔の準備にとりかゝる、立夏は大陰曆二十四節の一つであつて別に何も深い意味はないものと云はれてゐる

街の日記

滿洲パルプ披露

滿洲パルプ工業股份有限公司設立披露は三十日午後六時からヤマトホテルへ事業關係ならびに在京新聞通信關係者等數十名を招待、取締役社長寺田氏事故あり缺席、取締役山田馬次郎氏外日滿重役出席、山田氏より滿洲パルプ工業が昭和七年設立され、更に滿洲國法による會社設立までの經過を述べて挨拶があり之に對し來賓を代表して增參議府參議が祝辭を述べ主客寬いで歡談八時頃散會したが盛宴であつた

國旗掲揚式

新京教化聯盟主催國旗掲揚式は一日午前六時から新京神社に於て擧行されたが參列者多數あり一同莊嚴に國旗を掲揚、青木昌氏の感話ありて解散した

同仁醫院主 市橋氏歸院

市内富士町同仁醫院院主市橋貞三氏は滿洲醫大に二ケ年間研究のため出張中であつたが期滿ち歸院一日挨拶に來社した

小兒科德丸醫院

市内中央通り新京神社前に長春醫院を開業した同院長德丸スガ女史は一日開業挨拶に本社へ來訪した、同醫院は小兒科專門である

横山曹長赴任

新京附屬地憲兵分隊高等係主任憲兵曹長横山榮治氏は窰門分駐所に勤務を命ぜられ一日午後四時發列車で赴任した

カルメン開業

祝町青陽ビル地階にデヴューしたバー「カルメン」では三十日午後七時より關係者を招待して開店披露を行つた

大達廳長轉居

大達總務廳長は三十日左記に住居を移轉した
元壽路一〇一號
電話二一—四二三八
二一—四〇四七

あす(五月二日)

▲宣詔記念日
▲回ラン訓民詔書奉讀式 午前九時三十分西公園式場
▲滿洲國郵便記念スタンプ使用
▲大連行觀櫻旅行團出發 午後四時
▲學生雄辯大會、午後六時(日本側商業學校講堂、滿洲側市民醫院)
▲競馬第七日、午前十時より
▲藤波會勢好會溫習會第二夜 公會堂

◇今晩の主なる演藝放送◇

▲七・〇〇落語「締込み」—東京九段靖國神社能樂堂より中繼—杜文樂▲七・二〇溫習會中繼—新京記念公會堂より藤波會、勢好會第三回溫習會

お勝手が詳しく 巧みに盜む男 元滿鐵社員、宿舍を荒す

原籍佐賀縣藤津郡多良村字多良、市內永樂町三丁目雲仙莊止宿元滿鐵社員中村定雄(二〇)は昨年暮から頻々として起る滿鐵獨身社員合宿所內の盜難事件の被疑者として搜査中のところ去る二十六日滿鐵醫院に入院中を白菊町派出所太田巡査が發見逮捕し連行取調べると左の數々の犯行を自供した

▲昨年五月十日室町四丁目鐵道從事社員合宿所に侵入金側時計時價四十五圓を盜んだを手始めに▲本年一月十八日驛操車方詰所內で社員外套一着▲一月二十日滿鐵醫院でオーバー一着時價五十圓▲二月十五日山吹町四丁目櫻木寮で現金十七圓▲三月二十一日敷島寮二十七號川津氏の入浴中金側時計一個時價四十圓▲四月二十六日櫻木寮中馬三郎氏室から十八圓在中の財布を盜み素知らぬ顔して滿鐵醫院にかへつたところを逮捕された、なほ中村は一月以來雲仙莊の下宿料は滯つてゐるに拘らず盜つた贓品は入質してカフエーに入り浸つてゐた

ヘロ中で死亡

原籍樺太眞岡市(以下不詳)住所不定無職塚田外(二四)は三ケ月前から來京ヘロ中毒で市中を流浪中であつたが三十日午後三時ごろ日本橋通り七十番地先横丁排水溝中に横死してゐるのを通行人が發見した塚田は慢性のヘロイン中毒で心臓痲痺で死亡したものである

本年最大のヒット 小唄勝太郎一行 壓倒的前人氣の裡に公演迫る

小唄勝太郎、德山璉、小林千代子を始め三味線富奴、舞踊久米稚子、ビクター管絃樂團等十九名の一行は、愈々二十九日午前十時半賑々しく東京驛出發—滿洲小唄旅行の途に上つた事は既報の通りであるが、七日大連到着後の日程は七、八、九日大連常盤座、十日撫順公會堂の公演を終へ十一日あじあにて新京着十一、十二兩日午後七時より記念公會堂に於てデビュー、尚十二日晝間忠靈塔參拜及び衛戍病院慰問の筈である、それより十三日吉林十四、十五日哈爾濱、十六、十七日奉天に於て公演、十八日出發歸途に就く豫定になつてゐる、各地に於ける一行の前人氣は壓倒的で新京の公演も恐らく本年中の最大ヒットであらうと豫期されてゐる、尚勝太郎は東京出發に先立つて德山璉と共に、二十八日夜JOAKから放送したが、其の歌は曰く「滿洲ぐらし」曰く「夕かぜ」—こゝはお國の何百里、離れて遠き滿洲の…骨は枯れても名は朽ちぬ、御國の護りの主ぢやもの—と、滿洲物語りで心は既に滿洲に飛んでゐる形である

流浪の渡邊君 親の恩に泣く 本紙の記事に感激けふ歸郷

持つべきものは親…山形縣東村山郡藏增村大字藏增仙之助次男渡邊濟作君(二六)は既報の通りヘロインを覺へて中毒に罹り失業した揚句小澤福祉委員のもとに救ひをもとめて自靈會に入會したが逃走して新京署に厄介になり說諭の上放免再び行方不明になつてゐたのに小澤委員のもとに郷里の親から旅費四十圓を送り届けられたが本人がゐなくて同委員も途方に暮れてゐたが本紙二十九日附夕刊の記事を城內東四馬路を徘徊中目について夢かとばかり小澤委員宅を訪れてみれば旅費の外に帽子、着物、下駄など上から下までそつくり贈り届けてあつたのを淚に咽せんで着物を着替へ一日午後四時發列車で更生を誓つて暖い親元へ走つた

北滿各鐵道沿線 主要驛穀物 在貨噸數

【ハルビン國通】哈鐵調查の四月十日現在の北滿各鐵道沿線主要驛穀物在貨は四四五、二〇八噸であつて昨年同期の四八八、八三九噸に比し四三、六三一噸の減少である、この中大豆、小麥の內譯は

	大豆	小麥
哈市管區	一六・九八	[illegible]
濱北線	二五・四九七	二三・一七〇
松花江筋	一〇二・六二七	六七・二二八
京濱線	五・九七〇一	一・六九〇
拉濱線	一・〇〇二	[illegible]
濱綏線	七一四	一・五〇〇
圖寧延長線	[illegible]	五・二八〇
濱洲線	六・八〇三	一三・一六二
齊北線	一七・六四四	一八・八二五
合計	一七六・二一九	二二四・一二三
前年同期	二九二・六四四	一二六・六四一

天氣と氣溫

明日の天氣　南の風曇
日の出　前四時二十九分
日の入　後六時四十二分
月の出　後二時三十九分
月の入　前[illegible]時七分
けふの最高　廿一度七
氣溫最低　三度六

名譽の功勞記章を受けた人々(三)

關東局巡查部長 勳八等 河田繁

事變當時鐵嶺警察署に勤務し移動警羅班又は外勤として危險を冒し精勵恪勤克く事變警備に貢獻せるが其の間匪賊討伐に出動すること十回寡克く衆敵を潰走せしめ吾第一線警察の威信を發揚せしこと一再ならず殊に昭和六年十月二十一日亂石山に於て敗殘兵一千二百と交戰したる際には飛田分隊の輕機關銃手として出動急霰の如き賊彈を冒し或は敵前銃身を取換へ或は敵の機關銃に猛射を浴せて沈默せしむる等沈着勇敢に奮戰したるが敵は益々增援し友軍漸次包圍壓迫せらるゝの餘儀なきに陷るや喊聲を揚げて肉迫せる賊彈に奮然輕機集中彈を浴せて之を制壓し友軍の陣地轉換を容易ならしめ延て本戰鬪の勝因を作りたるは其の功勞拔群なり

關東局巡查部長 勳八等 李殷相

韓國獨立を標榜する在上海不逞鮮人は昭和七年四月廿九日白川軍司令官を暗殺したるに勢を得當時來滿中の國際聯盟調查團一行並帝國顯官暗殺の目的を以て決死の不逞鮮人二名を大連に潛入せしめたり本名は大連警察署高等警察鮮人係として其の重責を自覺し所有苦心慘憺日夜不休の活動を續け遂に昭和七年五月廿三日午後九時大連市北大山通に於て犯人崔興植を更に翌二十四日午前十一時市內兒玉町に於て首魁柳相根を逮捕せり斯の國際的重大事件を短時日に而も調查團一行の來連直前に檢擧し國家的不祥事件を未然に防止したるは一に其の搜查全過程を通して間然するところなき本名の卓絕せる手腕と一意奉公の赤誠に因らずんば非ず殊に首魁柳相根の逮捕に當りては所持の爆彈の爲搜查隊全滅し犯人を逸せんことを深く慮り自ら犧牲となりて眞先に飛込み機先を制し犯人をして兇器に手を解くるゝの際を與へず逮捕したるが如きは寔に警察精神の精華にして其の功勞拔群なり

關東局巡查部長 勳八等 阿部菊松

事變の全期間大石橋警察署司法刑事として勤務し日夜東奔西走克く困難缺乏に堪へ事變警備に懸命の努力を續けたるが其の間匪賊討伐に出動すること二十回常に勇敢敏速數々拔群の功績を樹てたり就中昭和七年七月十八日大石橋警察署管內分水驛長匪賊に拉致せらるゝや堅く救出を決意し爾來六十二日間苦心慘憺所在を突止め遂に九月十六日奇策を以て牛頭山下土台子村落に賊を誘出したる上突如奇襲して勝を制し賊の狼狽せるに乘じ能く人質を奪回せり又昭和九年一月六日より三月十日に至る間司法主任の指揮下に部下五名を率ひ同僚と協力粉骨碎身所有苦心を重ね危險を冒して賊の所在を探り竟に一網打盡其の虛を襲ひて大小頭目三十五名を逮捕し賊名全滿に冠たる遼河匪賊の根據を覆し以て地方治安を維持したるは其の功勞拔群なり

關東局巡查 勳八等 清水三平

昭和六年十二月十九日遊擊隊として匪賊の巢窟安奉線に派遣せられてより以來日夜東奔西走防匪警戒に不休の活動を續けて或は騎馬斥候として賊地深く敵情を偵察し或は無援孤立の中間驛に於て數十倍の襲匪を潰走せしむる等身命を賭して匪賊討伐に出動すること十八回に及べり、殊に昭和七年通化在留邦人救援警察大隊步兵砲隊第二分隊長として出動中五月一日に密河口に於て敵匪一千數百名より邀擊を受くるや敵彈雨飛の中に自若として部下を指揮奮戰其の間放列を轉換すること九回正確照準と適切なる射擊は敵の有力部隊を完全に制壓して吾徒部隊の敵陣地占領を援護し以て吾警察隊の全般的大勝の原因を爲したるは其の功勞拔群なり

關東局巡查 勳八等 堀哲次郎

昭和六年十二月二十日巡查拜命以來州外第一線に勤務し不眠不休匪賊警戒に努めたるが其の間匪賊を討伐擊攘すること六回克く事變地治安維持に貢獻せり特に昭和七年八月二十三日午後十一時五分合流匪四百五十名陶家屯附屬地に襲擊し來たるや直ちに待機中の非番員を召集し乃ち率先輕機關銃を以て應戰賊聲を揚げて肉迫する群る敵匪に猛射を浴せて擊退すること數度克く身を以て派出所を死守したる賊は益々增加し既に驛舍を包圍し其の危險目睫に迫るや奮然敵の十字火中に血路を開きて驛舍に移り輕機の全能力を發揮して孤軍奮鬪克く驛舍を死守し國際鐵路の安全を保持したる其功勞拔群なり

關東局巡查 勳八等 西田德太郎

事變の全期間州外に勤務し匪賊討伐に出動すること三十數回常に陣頭に立ちて勇猛果敢以て友軍勝因を爲したること數々なり就中昭和七年通化在留邦人救援の爲め警察大隊の編成せらるゝや選はれて黃三中隊附として出勤終始渡邊中隊長を輔けて行動を共にしたるが五月一日二密河口の戰鬪に於ては常に陣頭に立ちて中隊員誘導し或は射擊目標を示す等克く中隊長の指示を容易ならしめ更に坂元山の攻略に友軍將に全滅の外なき窮地に陷らんや中隊長に進言して敵浮雨飛の中を猛然先頭第一に突擊し頑强なる衆敵を潰走せしめたるは其の功績拔群なり

五月の豪華版！ "小唄勝太郎"

本社後援 近づく獨唱會

今更勝太郎の紹介でもあるまいが、順序だから簡單に書く、雪の肌で有名な越後の生れ、十三の年に新潟で舞妓に出たのが始め、それから十何年の間を側目も振らずに藝道に精進し清元であれ、長唄であれ、それに踊りだつて、土地では肩を並べる者もない、藝達者の一流花形藝者と謳はれて來た。

持つて生れた美聲、何とも言へぬ艶つぽい節廻し情趣に富んだ唱ひ振りは新潟に來る程の旅客をして、こんな田舎に置くのは勿躰ないと言はしめたそして頻りに勸めらるゝ儘に遂に決心して東京へ出て葭町に勝太郎と名乘つて現はれたのが、昭和六年、忽ち葭町切つての人氣者となり、勝太郎の唄を聽かねば粋人の資格なしと、寄ると障ると評判それを聞き付けたのがビクターでレコードに吹き込ましていて賣り出すと俄然素晴らしい賣行。葭町の勝太郎は東京の勝太郎となり、更に一躍日本の勝太郎とつた。

— ◇ —

勝太郎の名を全國的のものたらしめたのは何と云つても「島の娘」のレコードである、「ハアー島で育てば娘十六戀ごゝろ、人目忍んで主と一夜の仇情」の唄は日本は愚か、外國までも風靡しこのメロディに惚れ込んで米國から是非にと招聘して來てゐる。この「島の娘」のレコードは、發賣以來既に四十五萬枚賣り盡し、尚賣行は止まらないと云ふ印税一枚一錢五厘で僅か三分間のこの歌一つの爲に六千七百五十圓が、既に勝太郎姐さんの懐にころげ込んでゐるのである。咽喉の力も亦偉大なるかなである。

有名になるに連れお座敷の數も加速度的に殖え一月も前から申込まねば順番が廻らぬといふ始末に、之では體が續かぬよりは藝の修業が出來ぬからと、昭和八年の秋キッパリ妓籍を返上して、改めて小唄勝太郎と名乘り、不二派小唄の家元となつて在來の端唄、小唄界に新たなる境地を拓くべく、努力することゝした。

以來「東京音頭」「佐渡おけさ」等「島の娘」に劣らぬ賣行を見せたものも多く人氣は年と共に高まり、最近ではトーキーに進出、現に帝都キネマで本社後援の下に上映してゐる「勝太郎子守唄」に主演し新らしい人氣を呼んでゐる。

— ◇ —

勝太郎と滿洲との關係は[illegible]い、と云ふのは勝太郎といふ名前が非常に緣起が良い勝太郎の一躍有名になつたのが、滿洲事變前後で、勝太郎の名が日本人の所謂兒童走卒の國にまで呼ばれるやうになると共に、皇軍は學良軍閥に勝ち匪賊に勝ち、帝國は聯盟の壓迫に勝つて、滿洲國を創建せしめた、今度勝太郎が皇軍慰問の爲滿洲にやつて來る、來るのが當然である、と同時に吾々も亦此緣起の良い流行歌手を迎えて、大いに花を持たして歸したいのである。

"家族會議" けふからの長春座

長春座一日よりの番組は左の如く松竹作品二本立に漫畫を配した豪華編成である

▽松竹大船「家族會議」大毎、東日連載横光利一原作小說の映畫化で大船第一回作品である、脚色には池田忠雄が當り監督には島津保次郎が雄大なる野心をもつて望んだ、所謂關西商人と關東商人の性格の相異を對比較して描かうとし、此の間に若き人々の愛の交渉を織り込んでみたものである、主演者は佐分利信、及川道子、桑野通子、高杉早苗等で高田浩吉、靖賀靖郎等が京都から應援出演してゐる、「お琴と佐助」の功罪か此處でどう發展してゐるか、一興ものである

▽松竹右太プロ「初姿出世街道」右太プロが京都に移轉してからの第一回作品で「七化け大名」に次いで並木鏡太郎の一年ぶりの監督作品である、そして右太衛門と岡田嘉子が顔合せをする、瀬川春郎の原作によりあばれん坊やくざ安太郎が堅氣になる約束で旅に出て一年、道中で知り合つた薄幸な娘お柳の夫婦の詮議に巻き込まれて假の夫婦を裝ふ裡に遂々本當の夫婦になつて了ふまでの經緯を描く、脚色には監督者自身が當り此の人一流の刮達な手法を見せる、助演者は志賀靖郎、高堂國典、天野双一、光川京子等、並木、右太衛門、岡田嘉子の取り組みが高級ファンにも迎へられやう、キャメラは片岡清

映画 紅い"薔薇はなぜ"

南北戰爭を背景として、その戰禍の裡に破壞されて行く南部の一家の姿を描いたものであるが、例によつてヴイダーの素直た飾り氣のない感傷が流れてゐる、南部の土地と風景、そこに働くニグロの姿等、これは常にヴイダーの好むところの題材であり風景である、卷頭の田園の移動とニグロの歌、そしてラルゴーの伴奏に飾られた幾つかのシーンにヴイダーの持つ感傷は相も變らぬ美しさを觀る人々に傳へる、美しさにおいてかゝる細やかな素々たる感傷の流れにおいてこれは確にアメリカ映畫中の佳作であり、ヴイダーの名を恥しからしめぬ逸品である。然し此處に採り上げられた戰爭の社會的意義とか、戰爭への解釋、そして亦封建制度の中に培はれた一家、その一家に直屬するニグロ達への解釋においてヴイダーは未だにその視野の狭さを嘆ぜせしめるものを曝してゐる、封建的感情を透してニグロの叫びを暴動視してゐる邊りにこの缺陷が最も判然と現はれてゐる、只此處で盛り上げられたものと云へば一家の北軍に對する人間的な正義感の心良さだけであらう、ヴイダーの弱さと云ふか、題材（スターク・ヤング原作、マクスウエル・アンダースン、ローレンス・ストーリングス、エドウイン・ジャスタス・メイヤー）の弱さが此の一篇を感傷の美しさ以上のものになし得なかつた原因であらう。役では父親のウオールター・コーリイが出色、ランドルフ・スコッツ、マーガレット・サラヴァン共に好演技を示し、キャメラ（ヴイクター・ミルナー）の美しさも特筆すべきものがある、帝都キネマ上映中（N生）

雜音

「家族會議」「初姿出世街道」登場五月初頭を飾る異色二本、漫畫祭を配して好番組である▼ニュース、漫畫は何時見ても面白く、松竹ニュース、朝日世界ニュース、新興ニュース等、皆な興味を呼んでゐる當り輕禎出來ないものがある▼帝都の「勝太郎子守唄」仲々の好評、唄を聽くだけのものだが、受けてゐるところを見ると勝太郎の人氣は未だ〱大したものである、御本尊出現の前に効果ある役割を果した▲公會堂では藤波會勢好會の溫習會、放送局の中繼などあり此の世界の賑ひには危げがない

仙人掌

先夜扇芳會館のドアの硝子をハヅミで蹴破つた人あり、連れの男が引つつかまつて辨償を要求されたそうな▲大體ドア・ボーイが居るはずなんだから、ドア・ボーイの責任ではないかといふのが傍觀者の話▲近頃喫茶店が雨後のタケノコのやうに出來たが、大事なのは良い客の層を惹きつけることだ、ヘンな腕ッ節の强そうなのを頑張らせたりするのぢや普通人士いつぺんでいやになるし、振りの客を粗末に扱ふのではこれも困る▲一體にレコードの鳴らし方が騷がし過ぎる、サアヴイスの女たちの服裝が整つてゐない、空氣の流通が悪い▲これぢや公園にでも行つた方がナンボいいか判らんといふ事になつてしまふ▲I畫伯大和通を歩きながら「ナポリ」の前に立つて「あの頃はなつかしかつたなあ」と、また或るダンス・ファンは「おい近頃モンテカルロいいぞ、奉天から來たのに大分良キが居るぜ！」と、それもこれも移り行く……

▽征空重爆撃▽

ユニヴアーサル映畫 ジャック・ホルトの主演する、映畫で■リスティ・ギヤバンヌの監督作品である、エリオット・ギボンヌ原作になる空中ものでパラグワイとボリビヤの戰爭を背景に例によつて友情と戀の相剋をスリリングな興味をやま場として描いたものである、脚色にはアルバート・デイモンドが當り撮影にはチヤールス・ステユーマーが當つた助演者はモナ・バリ、アントニオ・モレノ等、豐樂劇場上映中、寫眞はその一場面

公債借替好成績で 近く第二次斷行
本年中に全部の借替終了せん

【東京國通】各方面から其結果を注目されて居た五分利公債借替に伴ふ三分半利公債への乘替申込は廿八日を以て締切られたが申込受付總額は三萬四千四百六十萬圓に達し九割を突破するの好成績を收めた、此好調に刺戟されて第二回借替は著しく促進されるに至つた

即ち第一回借書の好成績が現實化したので大藏省及日銀當局も第二回借替の斷行を考慮するに至り、恐らく來月早々發表されるものと觀られて居る、右借替は第一回の方法に從つて償還期限の短かいものから分割的に行はれる事となり第二回目としては昭和十五年度迄に期限の到來する五億圓或はそれ以上とする觀測が有力である

而して金融界では借替が斷行されゝば外に適當な投資物なく且つ將來三分利公債の出現も當然豫想されるので、第二回も好成績を收めるものと見て居り、從つて本年中には五分利國庫債券の殘額十七億六千萬圓全部の借替が終了するのではないかと觀測してゐる

鮮、臺銀の 限外發行税引下

【東京國通】政府は低金利の波に應じて朝鮮銀行及び臺灣銀行の限外發行税現行四分を三分に引下げるに決定し、五月一日附の大藏省令を以て公布、即日實施の筈

尚鮮銀の保證發行限度五千萬圓の擴張問題に就ては通常議會までに日滿通貨問題の根本的解決策と併行して研究し解決する事となつた

新京に於る 四月小賣物價

關東局調査による新京に於ける四月分小賣物價指數左の如し

昭和十一年四月分の小賣物價を同月十五日現在により調査するに騰落割合は(重要品目卅六種に付算出)前月に比し一厘騰貴、前年同月に比し八厘騰貴である 尚類別による指數を示せば次の如し

	前月を百とす	前年同月を百とす
食料品(十種)	九九・八	一〇四・四
調味料(九種)	一〇一・〇	九九・五
飲料及嗜好品(八種)	九九・五	一〇一・五
衣料品(七種)	一〇一・〇	[illegible]
燃料(二種)	[illegible]	九七・七
總平均(三十六種)	[illegible]	[illegible]

騰落品目は(調査品目五十九種中前月に比し騰落したるもの の左の如し

△騰貴—五種 梅干白(一割六分七厘)玉ねぎ(一割)白砂糖(九分一厘)しゐ茸(三分四厘)白米無檢査一等(一分二厘)

△下落—三種 鷄卵(二割)清酒白鶴(三分六厘)石油(一分二厘)

大連に於る 小賣物價指數

【新京國通】關東局調査による大連に於る四月分小賣物價指數左の如し、昭和十一年四月の小賣物價を同月十五日現在より調査するに騰落割合は(重要品目卅七種に付算出)前月に比し四厘騰貴、前年同月に比し二分五厘騰貴である 尚類別による指數を示せば次の如し

	前月を百とす	前年同月を百とす
食料品(十一種)	九九・八	一〇五・五
調味料(九種)	一〇一・四	一〇四・五
飲料及嗜好品(八種)	一〇〇・〇	一〇〇・〇
衣料品(七種)	一〇一・五	九九・五
燃料(二種)	一〇〇・〇	一〇四・六
總平均(卅七種)	[illegible]	[illegible]

騰落品目は(調査品目六十二種中前月に比し騰落したるもの の左の如し

▲騰貴—七種 馬鈴薯(二割五分)鹽鮭(二割)白砂糖(一割二分五厘)角砂糖(一割一分一厘)毛糸外國物(五分六厘)毛糸內地物(三分八厘)白米無檢査一等(一分三厘)

▲下落—二種 カタン糸內地物(一割六分七厘)鷄卵(二分八厘)

▲保合—五十三種

商務會の統制問題 解決に近づく
協和會奉天事務局で斡旋

【奉天國通】日滿經濟一元化促進を期する日本側商工會議所と滿洲國側商務會との統制問題は各方面の注目を惹いてゐるが、協和會奉天省中央事務局では二十七日午後七時ヤマトホテルに於て第五回日滿經濟懇談會を開催、委員として市公署、實業部、協和會より十名出席、同日來奉した張實業部工商司長來賓として特に出席、石田商議會頭、方商務總會長と意見を交換 中央部と連絡して問題解決に協力することとなり同十時過ぎ散會した

北滿水運界 客貨船續々下航

【ハルビン國通】北滿河川の開通により早くも水運業界は異常な活氣を見せてゐるが、去る廿二日川下に向つた水運局客船三江丸を先發として廿四日平安丸、廿五日永安丸と續々客貨を滿載して居り、その中永安丸は廿八日佳木斯着の豫定である尚廿八日饒河、虎林方面も既に流氷を見たとの入電あり、黑龍江方面の流氷も茲數日中で來月早々北滿河川全通の見込みである

東拓て北鮮材の 販賣者を物色
出材豫想高は約二十萬石

北鮮材の本年度の動向は材界一般より期待されてゐるところであるが、東拓の北鮮出材は約二十二萬石、即ち獨逸國有林及び五萬川國有林產で獨逸工場十八萬石及び安木工場渡し四萬石でこれが內譯はサースン五割、紅松三割、落葉ドロナラ其他二割となつてゐる、然るに內地に於ける販賣について東拓では昨年度安宅商會に一任したが、同商會では利益よりも寧ろ損害を蒙つたものの如くでこの際內地の販賣を他の大手筋に託すべく內交渉を進めつゝある模樣で何れに落付くかは未定であるが何れにしても安宅商會の手から離れるものと見られてゐる

產業統制法の登場(上)
既存統制が示す 決定的な方向
—注意される企業の自由—

滿洲國の重要產業統制法の意圖するところは何であるか過去に於いて隨時に闡明發表された經濟建設方策は抽象的な方針を規定したものに過ぎなかつた。今や治外法權の撤廢を目捷の間にひかへて、國內の產業法規を整備せしめることが緊要事となつてゐる。從來のやうな行政處分による國內產業の統制は排されるであらう。

× ×

滿洲國の重要產業統制法はその成立の意義よりして、またその及ぼすべき效果に於いて、他の諸國に於けるものとは著しい相違を持つ筈である現代の多くの國に於ける統制法は、激甚な自由競爭を經て已むを得ず制定實施されるのを普通としてゐる。從つてその中には當業者の自發的統制も含まれてゐる。しかし滿洲國に於いては、建國以來今日まで採られて來た經濟建設の方策がすでにいはゆる統制經濟として一應國家社會主義的計畫經濟の樹立を目標として運用されて來たのである。だからして重要產業はすでに殆んど悉く國家的統制に服してゐるのである。先づこの事を理解して、われらは新しい統制法に面しなければならぬ。

× ×

以上の事は、滿洲國重要產業統制法制定實施の效果は、むしろその反面に於いての、統制法に指定されない產業の自由化を規定するであらう點に注意を向けしめる。統制法に指定されたもの以外の產業は、あくまで文字通り自由企業として取扱ふことが、滿洲國當局とその指導權を持つ者のとるべき方策であり、統制法制定實施の必然の歸結でなければならないのである。

× ×

統制法の對策とするところは、各種產業部門中、鑛產乃至林產資源に關してはそれぞれすでに統制機構が整備されて居るのであるから、必然的に專ら工業部門に限られるであらう。そして、その統制方策は、いはゆる國防上又は國民經濟上重要な基礎產業については一國一策主義の原則がこゝにも適用され、いはゆる特殊會社をしてそれを經營せしめるか、又は當該事業について支配的な地位を有する企業をしてこれを經營せしむるのが當然の歸結であらう。又滿洲國の主要農產物の加工のやうな、滿洲國の生產經濟上に重要な產業については、原料供給部門である農業部門との諸關係を合理的に規律づける必要があるやうに、國有在來工業の消長はその經濟に影響するところが相當甚大であらうから當局としては急激な新規競爭企業の適當な調節を企圖するであらうし、すでに設備過剩又はそれに近い狀態にある產業については自から制限的統制が加へられるであらう、又國民の消費生活に特に密接な關係をもつ產業については販賣價格に關して或る程度の統制が實現されるであらう。かかる運用方針は、滿洲國當局がすでに發表してゐる經濟建設綱要の精神乃至規定に照して明白に豫想出來るところである。(S・Y生)

奉天省下の 農會を改組す

【奉天國通】農村の直接指導機關たる農會の改組に關しては省當局始め關係各機關に於て立案計畫中であつたが、今回省令を以て農會改組規則が各縣に布告された、同案の骨子は從來の農會を根本的に改組しこれに產業組合的組織を折込み各縣に縣長を會長とする縣農會を置きその上に村區農事組合を設け農會の命を受けて一切の事業、計畫を行ふので、これによつて從來地方一部有力者によつて壟斷されて居た農會は完全に面目を一新農會本來の姿に立戻り積極的に指導獎勵に乘出す筈で期待されてゐる

日滿貿易の楔子に 內地製品 販賣會社
滿人有力者の計畫進捗す

從來滿人側商工業者と日本內地生產業界との取引決濟方法は代金引換乃至爲替手形等を利用してゐるが最近に至り滿洲內有力資本家に於て大規模の內地製品販賣會社設立の計畫が進められてゐる、即ち先般奉天城內市商會に於て奉天、新京、哈爾濱、吉林、營口、龍江の各商會長その他有力資本家約二十名が參集、種々協議の結果資本金一百萬圓の共同出資を決議し直にこれが準備に着手したが同會社は本店を奉天に支店を新京、營口、龍江、安東に及び大阪に設置し專ら日本生產品の代理販賣を營む筈でこれが設立の曉には日滿貨に尠からざる貢獻をなすものと期待されてゐる

土建ニュース

●中央銀行
▲牡丹江支行電氣設備工事 決定工事 落札 千六百六十五圓 大連電業
[illegible] 廣電社
[illegible] 高橋電氣
▲總行深井戸掘鑿工事 落札 九千四百五十圓 日滿鑿泉
[illegible] 淺野物產
▲安東支行蠕除網取付工事 單獨 八百五十圓 福昌公司
▲公主嶺支行宿舍深井戸掘工事 單獨 六百三十圓 長谷川工務所
●市公署
▲西四馬路深井戸喞筒据付工事 單獨 百七十二圓 中村商會
●營繕需品局
▲國務總理大臣官邸新設煖房並衞生裝置工事 示談 二萬三千圓 三機工業
[illegible] 三機工業 / [illegible] 齋藤省三商店 / [illegible] 勝本商會 / [illegible] 大阪煖房 / [illegible] 第一工業
第一回 [illegible] 三機工業 / [illegible] 勝本商會 / [illegible] 齋藤省三商店 / [illegible] 大阪煖房 / [illegible] 第一工業
▲哈爾濱航政局新築工事 落札 九萬五千五百八十圓 鹿島組
[illegible] 清水組 / [illegible] 高岡組 / [illegible] 吉川組 / [illegible] 榊谷組 / [illegible] 福昌公司
●奉天鐵路局
▲錦縣新設給水塔基礎試驗杭打工事 單示 一千圓 大林組
[illegible] 大林組
●營繕需品局
▲財政部自動車庫運轉手宿舍給排水工事 開札四月三十日
▲哈爾濱賽馬場康德三年度整備電氣工事 開札 五月一日
▲ハルビン航政局新設電氣工事 開札 五月四日
●市公署
▲瓦房店稅關分卡廳舍新築工事 開札五月四日
▲西北門拍賣工事 開札 四月三十日

中銀貨幣發行額

四月十九日より廿五日に至る中銀貨幣發行額左の如し

貨幣發行額	[illegible]
紙幣	[illegible]
準備	[illegible]
保證	[illegible]
鑄幣	[illegible]

新京で藥品會社の幽靈株がバレタが東京では「はれやか」の主人等が大掛りの公債僞造に關係してゐるとかはれやかならぬ風景である▲滿洲毛業公司とやら、創立總會又々延期の由、どうかはれやかな進行であつて欲しいものだ▲何かに化かされてゐるやうなうすら寒い氣持に襲はれて、ぞくぞくつと身體を顫はせた—と、これは尾崎士郎の「空想部落」の最後の文句だが、空想と現實との差はホンの少しであるかも知れぬ▲日本に於ける產業統制法は生產者本位から消費者擁護へと轉廻しつゝあると言はれてゐる、デフレ時代の產物であつた現行法がカルテル助成からカルテル並びにトラストの弊害取締法へと轉化すべきは當然である。今後トラストの取締が法文中に規定され公益規定の發動がより廣く豫想出來るのをわれらは注目すべきであらう—「進みゆく歴史の流れの音のする」

商況欄 (五月一日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊	二〇片一六分五
同先限	二〇片一六分五
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	五〇留比六分七
米英爲替	[illegible]
米日爲替	二八弗九三仙
米支爲替	二九弗九五仙
スチール	五七弗四分三
アナゴンダ	三二弗八分七
英日爲替	未
英支爲替	未
印日爲替	七七留比八分五

▲米棉

現物	一一仙五五
五月限	一一仙四五
七月限	一一仙〇四
十月限	一〇仙一六
十二月限	一〇仙一七
一月限	一〇仙一九
三月限	一〇仙二三

▲印棉

ブローチ	一九八留比
オームラ	一八五留比
ベンゴール	一五七留比

▲市俄古小麥

五月限	九九仙〇〇
七月限	八七仙八分五
九月限	八五仙二分一

▲カルカッタ麻袋

當限	二三留比一六分一
先限	二〇留比二分一

金銀市況

●上海標金 昨引 [illegible] 本寄 [illegible] 步 [illegible]
●大連金鈔票 現物 寄付 [illegible] 步 [illegible] 引 [illegible]
●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible] 出來高 [illegible]

高 [illegible] 安 [illegible] 出來高 [illegible] 五月十三日限 寄付 [illegible] 步 [illegible] 五月廿八日限 出 不 申 來

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 買 [illegible] 第二回 賣 買 [illegible] 第三回 賣 買 [illegible]
▲倫敦向 第一回 賣 買 [illegible] 第二回 賣 買 [illegible] 第三回 賣 買 [illegible]
▲紐育向 第一回 賣 買 [illegible] 第二回 賣 買 [illegible] 第三回 賣 買 [illegible]

▲大連爲替 ▲上海向 一〇六、〇五 一〇六、一五 ▲臺灣向 一〇六、一〇 一〇六、〇五 一〇六、一〇 出來高 九萬

▲阪神日米爲替 第一回 賣 買 [illegible]
▲阪神日英爲替 第一回 賣 買 [illegible]

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄 引: 東新 [illegible] 鐘紡 [illegible] 滿鐵 [illegible] 日產 [illegible] 大新 [illegible]
▲大阪株式(短期) 寄 引: 大新 [illegible] 鐘紡 [illegible] 東新 [illegible] 日產 [illegible] 日魯 [illegible]
▲大連株式(短期) 寄 引: 五品 [illegible] 豆新 [illegible] 鈔新 [illegible] 銀 [illegible]
▲奉天株式(短期) 寄 引: 滿鐵 [illegible] 二新 [illegible] 日產 [illegible] 鐘新 [illegible]

各地商品市況

滿取 東新 大新 日產 五品 豆新 鐘新 滿鐵 二新 電甲 同乙 東拓 滿興 滿毛 優先 日畜 東亞 — [illegible]

▲大阪棉糸 寄 引: 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 — [illegible]
▲大阪棉花: 當限 先限 — [illegible]
▲大阪人絹: 當限 先限 — [illegible]

各地特產市況

●大連 大豆: 袋入 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 — [illegible]
●同 豆粕: 現物 五月限 六月限 七月限 八月限 — [illegible]
●同 豆油: 現物 五月限 六月限 七月限 八月限 四月限 — [illegible]
●同 高粱: 現物 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 — [illegible]
●哈爾濱大豆: 五月限 六月限 七月限 出來高 [illegible] 車
●同 小麥: 五月限 六月限 七月限 出來高 — [illegible]
●神戶 豆粕: 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 — [illegible]

新京取引所市況 (五月一日前場)

現物 (一石値段) 大豆 寄 — 出來高 —
定期 (混合百斤値段) 玉蜀黍 — 寄 引 出來高
大豆 五月限 [illegible] 車

五月二日 閏三月十二日 木曜 甲申 友引 定 氐宿

●一白の人 本分を堅く守りて浮つかぬが安全飲食注意 丙と丁と坤が吉
●二黑の人 氣力內に滿ちて萬事通達すべき吉日となす 辛と壬と癸が吉
●三碧の人 元氣に任すときは不利に陷る事あり注意日 丙と丁と丑が吉
●四綠の人 進む事のみ考へて跡を見ざる爲失敗ある日 丁と申と寅が吉
●五黃の人 寬容にして萬事を行へば發達すべきの吉日 辛と戌と癸が吉
●六白の人 障碍に屆せず突破心を振ひ起して進むが吉 丙と辛と壬が吉
●七赤の人 花の盛りは過ぎたれど實を結ぶ樂みある日 辛と壬と癸が吉
●八白の人 運氣良好にして福祿あり金談緣組何れも吉 亥と壬と癸が吉
●九紫の人 望のみ大にして力の足らざるが如し守靜吉 甲と申と辛が吉

昭和十年度決算報告 (昭和十一年三月末日現在)

貸借對照表

借方(資產)之部

不動產	[illegible]
備品	[illegible]
預金	[illegible]
未收金	[illegible]
合計	[illegible]

貸方(負債)之部

既有財產受入	[illegible]
基金	[illegible]
借入金	[illegible]
增改築繰入金	[illegible]
前年度繰越金	[illegible]
本年度剩餘金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂金	[illegible]
合計	[illegible]

收支計算表

收入之部

公會堂收入	[illegible]
室料	[illegible]
特別室料	[illegible]
利息收入	[illegible]
補助金	[illegible]
雜收入	[illegible]
合計	[illegible]

支出之部

公會堂經費	[illegible]
人件費	[illegible]
物件費	[illegible]
本年度剩余金	[illegible]
合計	[illegible]

昭和十一年四月二十八日 財團法人新京記念公會堂

〔大正九年十二月十四日第三種郵便物認可〕

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

訪日宣詔記念日を迎ふ

御親ら示し給ひし日滿不可分の模範
回鑾訓民詔書煥發一周年
東洋平和に曙光射す

滿洲國皇帝陛下が日本を御訪問遊ばされ日滿親善不可分に不滅の御偉業を殘させ給ひ回ラン訓民の詔書を煥發あらせられてから一周年に當る

滿洲國は元より友邦日本とは脣齒輔車の關係にあり日滿議定書により宣明せられた通り兩國不可分の關係を持しつつ獨立國として健全なる發達を遂げ、もつて東亞の安定を確保し大義を宇內に顯揚せんとするものであるが、更に皇帝御親らその範を垂れさせられ、上は兩御皇室の御親睦、下は兩國民の融和を一段と緊密化せられ、日滿親善關係に確乎不動大磐石の礎石を築かせ給ふたのである

即ち 日本は滿洲國の健全なる發達を遂げしむる以上に於ては勿論眞に日滿兩國民の融和を圖り滿洲國に於る日本國民の全面的發展を可能且つ確實ならしめ、進んでは日滿兩國善隣不可分の關係を永遠に鞏固ならしむる上に於て先づ治外法權の撤廢を必要とするに至り、昨年八月九日の閣議に於てその根本方針を決定した、依つて滿洲國に於ても治外法權撤廢の準備の爲範を日本に執り司法制度は固より警察課稅等に關する各般の制度の改善充實を期しつゝあり、又兩國間には昨年中に於て滿鮮國境稅關協定を始めとして日滿經濟共同委員會設置協定、日滿郵便條約等が次々に締結され、更に駐日公使館の大使館昇格等あり日滿不可分關係は一段とその敦厚の度を增した一方對外的には皇帝御訪日に依つて日滿親善關係を如實に認識せしめると共に滿洲國が嚴然たる獨立國家として如何に東洋の和平延いては世界平和に貢獻せんとしてゐるかを表示したのである、滿洲國が獨立國家の

面目 を保持する上に於て日本の絕大な援助の下に健全なる發達を遂げつつあることは漸く列國間にその認識を深めつつありドイツ、和蘭、蘭領印度、波蘭等との爲替交換開始、新京ーパリ間無電連絡開始等はその實證であるが更にドイツ政府は昨年十一月キープ博士を團長とする經濟視察團を派遣して滿獨貿易調整を檢討し、又ベルギーよりは本年四月經濟視察團が來滿して滿白貿易進捗に拍車をかけて列國の注目を惹き、更に滿洲國を視察旅行する者も日と共に增加し諸外國が如何に對滿認識を深めんとしつつあるかゞ窺はれる、更に特筆すべきは滿洲國と接壤する冀東政府は四月滿洲國に親善修交使節を派遣して滿洲冀東修交の契を開き防共並に民生の利益の爲に滿洲冀東相互協定の締結を切望し又滿洲國も冀東政府の要望に快諾し本月中旬頃答禮使が出發、滿洲冀東親善協調の實を結び、東洋平和に一大曙光を增すことになつた

滿洲國皇帝陛下御近影

若草萠ゆる西公園に
日滿市民詔書奉讀式
市內は慶祝諸行事渦まく

國都の宣詔記念日は若草もえ初めた西公園に於る日滿市民合同の詔書奉讀式場の奉祝氣分から始まる

式典は平島協和會次長の開會の辭によつて始まり、日滿國旗の揭揚に引續き萬餘の日滿市民、學生によつて莊嚴に日滿兩國々歌の合唱が行はれる

かくて韓市長の詔書奉讀、武田地方事務[illegible]の後、日本側より守屋大使館參事官、滿洲國側より阮文教部大臣の謹話があつて同十時半盛大なる詔書奉讀式を終る

一方滿洲國政府の簡任官以上の顯官は午前十一時宮內府に於る賜宴の榮に浴す筈である

市民大會のほかこれと時を同じうして總務廳では張總理司會の奉讀式があり、又軍政部では本部及地方〇部隊に於て式典をあげ、映畫上映、パンフレットの配布等を行ふ、尙午後六時半より韓市長は「御訪日一周年を迎へて」と題してラヂオ放送を行ふ筈である

記念武道大會
出場團体決定

三日午前九時より新京商業學校に於て開催される滿洲帝國武道會主催の訪日宣詔記念慶祝武道大會に出場する團體は左の如くである

（劍道之部）新京驛、國道局、總務廳、電業A、B、大興公司、電電A、B、關東軍司令部A B 中銀A B、劍友會、軍政部、新京商業A B、交通部、民政部、司法部、青年學校A、B、實業部、大同學院、新京中學

（柔道之部）新京武德會A、B、滿鐵運動會A、B、C、中銀A、B、電業A B 商業學校A B、新京中學校A、B、國際運輸A、B、電々、實業部、司法部、民政部、首都警察廳、大同學院、總務廳

訪日畫譜と訪日記念章

（上）昨年四月六日東京驛に於ける兩陛下の歷史的御對面と（下）代々木に於ける特命觀兵式

訪日宣詔記念日に際して

關東軍司令官　植田謙吉

昨年四月滿洲國皇帝陛下が親しく日本を御訪問遊ばされまして新京御歸還の後回ラン訓民の大詔を煥發遊ばされましてから丁度一年になりました本日は詔書煥發の一周年記念日に當るのであります

滿洲國皇帝陛下御訪日の御盛[illegible]して東洋道德の眞義を發揚すべき旨を宣誥し給ふたものであります

滿洲國皇帝陛下御訪日に際しまして東京驛頭に於る日滿兩國元首の固き御握手は兩國修交の如何に敦きかを世界に宣示せられたる偉大なる外交で[illegible]皇室の御親交は愈々敦厚を加へさせられつつあります

寔に畏くも我が天皇皇后陛下に於かせられましては御身を以て滿洲國及其帝室に對して我が國家及國民の履むべき途を範示し給ひし次第でありまして聖慮の宏大無邊なる事は眞に感激の外ありませぬ、本日宣詔記念に當り日本國民たる者は日滿兩國親善の愈々增すに伴ひ、彼の我に親倚する事の益々厚きに從ひ其責務の更に大なるを思ひ全力を盡して滿洲國の發展向上に努め以て大御心に副ひ奉らなければならない事を痛感する次第であります

御訪日記念の佳節に際して

國務總理大臣　張景惠

東洋史上未曾有の偉觀を呈した御訪日の盛儀は日を經ると共に更にその意義に於て又其影響する所に於て益々重大性を加へ實に東亞平和史上に萬代不磨の偉動を刻しつゝある惟ふに陛下は御起程に先ち御東行が必ずや兩國の睦誼と東洋平和の上に莫大なる效益あることを宣佈し給ふたが、龍駕一度東都に迨り日本皇室を御訪問遊ばされるや御交驩の狀は兄弟睦家の至情を流露せられ、つぶさに日本皇室の優渥、擧國の熱誠を受けさせ給ひ、畏くも兩陛下には精神一體兩國民は一德一心永久不渝の不可分關係に在るべき範を御躬を以て明示し給ふたのである、陛下の御感懷は御回ラン直に煥發せられ給へる大詔を以て間然する所ないが今尙折に觸れ畏くも臣等に對し日本皇室及日本國民に對する尊崇信倚の叡慮を漏させ給ひ或る時には滿洲國民であつて日本國及日本國民に對し異圖を抱く者は滿洲國民に非ずとすら仰せられたることがある

蓋し我國民は逐年建國の聖業に對する認識を深め來つたが爾來不逞の輩の使嗾に誤るものもあつたが一度訓民の明詔が煥發せらるるや民心頓に歸趨を得て日滿兩國悠久の基礎は更に明徵にされた

我等臣民は永久に大詔を奉戴し上下一致聖旨を實踐躬行し以て盟邦日本と和衷協力東洋道德を發揚し世界平和に貢獻し萬民と共に永く此佳節を銘記して兩皇室の御繁榮と兩帝國の並進强盛に邁進したい所以である

訪日宣詔記念日に際して

宮內府大臣　熙治

昨年四月二日皇帝陛下には日本天皇陛下及各宮殿下を御訪問し給ひ皆懇誠相契り情誼周摯し給ふ政府より人民に至るまで熱心に迎送し奉り敬禮を竭せざるものは無く曠古の盛典はこゝに圓滿に完成したり御回ラン後宸衷感動し給はれ五月二日特に明詔を分ち國是を確定し給ふ、既に親しく玉音を吐き給ひて文武百官に誥諭し更に全國に宣示して民衆に知らしめ給ふ

兩國一德一心の意義、明かなること日星の如く堅きこと金石の如し、兩國民の親睦を感ずる所である斯れこそ誠に吾國歷史上最も光輝盛大なる記念日である、兩國不可分の關係は此を以て堅く渝ることなく同時に東亞の和平を保ち以て人類の福祉の宏圖を謀ることも亦此に基きて達成さるるは期して待つべきである、今後宣詔記念日を以て年中行事となし將來無窮に執行さるる事となつた此を用ひて明詔に垂示し給ふ萬異之聖旨に副へば則ち鄙人の尤も厚望するところである

國民の感激新たなる
詔書の御趣旨

御訪日十有九日「一德一心」を御躬ら御體驗遊ばされて御歸國、直ちに滿洲國民に回ラン訓民の詔書を御煥發遊ばされ、日滿兩國國交に對する固い御信念を御闡明あらせられて滿一年、その記念すべき今日、詔書を奉讀、又新たなる感激を覺ゆるのである

詔書は先づ御訪日の御宿望の切であつた事を述べさせられ日本君民上下の御歡迎に對して衷懷銘刻忘れ得ざる旨を强調せられ、滿洲國の創建及その後の發達の皆日本の盡力によるを感謝せられ、更に日本帝國が萬世一系世界無比の皇室を戴き、內より治り外より交り國運隆々としてあがりつゝあるは皇室の御仁愛と國民の忠孝に專らなることを明かにせられ滿洲國民が此の友邦と一德一心、兩國の發展と東方道德の眞義を發揚することに力を效すべきことを訓へさせられてゐる、簡明にして莊重の御言葉の中に御訪日によつて得られた御觀察と御感想とを十二分に盛らせられ、日滿永遠の國交を御闡明あらせられたことはまことに畏く拜せられる

その「日本皇室懇切相待チ備サニ優隆ヲ極メ其臣民熱誠迎送亦禮敬ヲ竭セサルナシ、衷懷銘刻殊ニ忘ルル能ハス」と仰せられたのは皇帝陛下が如何に我國上下を擧げての歡迎の誠意に感銘遊ばされたかを窺ひ奉り得べく「我國建立ヨリ以テ今茲ニ逮フマテ皆友邦ノ仗義盡力ニ頼リ以テ丕基ヲ奠メタリ」といふ御言葉はこの數年來日本の情誼に對して如何に御感謝遊ばされて居られるかを御察し申上げることが出來る殊に「其政本ノ立ツトコロ仁愛ニ在リ敎本ノ重ンスルトコロ忠孝ニ在リ」以下に至つては日本三千歲の光榮ある歷史と今日世界に輝きつつある國威との由つて來るところを說いて餘蘊なしと申上げる可くこの日本上下の德を新興滿洲國に移し植えられやうとする深遠な御意思も仰がれる譯である

更に「朕日本天皇陛下ト精神一體ノ如シ」と仰せられるに至つては、御訪日によつて悠久なる歷史を持ちつつ發展の意氣天に冲する日本と荊棘をひらきつゝも鬱勃たる新興の熱意に躍る滿洲國とのため、若き兩元首が如何に修睦投合あらせられたかを窺ひ奉ることを得る次第で、日滿提携の精神この御一語につきると申しても過言ではない事を感ずる

要するに訓民詔書は一方に於て日滿膠漆の國交を更に無窮永遠に强調すると共に、滿洲國民がこの永久に倚る可き規準目標を示されたものといふ可く、滿洲國にとつて不朽の典章である

宣詔記念日制定の意義

滿洲國皇帝陛下御訪日の盛儀は世界に日滿兩國の不可分關係を顯揚し東洋平和の一大礎石を確立したものであつて滿洲國はこの曠古の盛儀を永遠に記念する爲回ラン訓民詔書御煥發の日を宣詔記念日と定め國家の式日と爲した

右記念日制定に就ては四月六日勅令が發せられると同時に滿洲國政府では

滿洲國政府は昨春皇帝陛下御訪日の盛儀を顯揚し一般官民の日滿一體關係に對する認識を深むる爲回ラン訓民詔書を煥發あらせられたる五月二日を訪日宣詔記念日とし官署休暇期日に追加制定、當日は全國各官署學校等に於て詔書奉讀式を擧行し且記念行事を實施する旨を發表しその趣意を明かにした、尙記念日の日取に關しては最初皇帝陛下が日本皇室を御訪問あらせられたる四月六日を選ぶべきやとの議もあつたが滿洲としてはこの頃はまだ結氷中なので特に回ラン訓民詔書御煥發日たる陽春五月二日が選定された次第である

外務辭令

【東京國通】外務省辭令は一日左の如く發令された

外務省警視　長谷川清　任大使館理事官命滿洲國在勤
外務省警視　田島周平　命厦門在勤

人事往來

▲河本滿鐵理事　一日午後歸京大連より
▲矢野內閣印刷局長　同內地へ
▲奧少佐　同奉天へ
▲幡野少佐　同公主嶺へ
▲原少佐　同ハルビンへ
▲町野主計正　同三岔河より
▲野坂寬治氏（會社員）同奉天へ
▲松浦忠三郎氏（商業）同
▲織田金吾氏（織田組）同奉天へ
▲大橋德司氏（拓務省官吏）同來京中央ホテル
▲一見廉造氏（同）同

航空往來

▲中山少佐　一日午前ハルビンへ
▲小野口中佐　同
▲松尾喜一氏　同延吉へ
▲鳥信雄氏（淸水組）同
▲藤田繁氏（木材業）同午後ハルビンへ
▲井上四郎氏（土木業）同
▲金子金次郎氏　同
▲野村虎雄氏　同
▲岩田清一氏（三井物產）同ハルビンより
▲服部昇一氏（同）同
▲藤田揚一氏　同
▲牛田德三郎氏　同延吉より
▲島川清久氏（土木建築）同
▲天王寺神秀一郎氏（航空會社員）同奉天より

社說

回鑾訓民詔書を拜して
衍義に說かれた一德一心

一

滿洲國皇帝御訪日盛儀滯りなく終へさせられ回ラン訓民詔書を御渙發あらせられたのは去年の今日であつた、われらは昨日滿洲國政府公報に於いて回ラン訓民詔書衍義を讀むことを得た、詔書についてまた滿洲國の獨自なる特色を發揮してゐるものと言へやう政府當局よりこの說明ある、

二

解釋者は先づ我が教育勅語を引用し、直ちにその後に、聖心深く友邦の仁愛を以て政本となすこと我が立國の精神と既に其の揆を一にし忠孝を以て教本となすこと我が固有の民イと亦其の道を同ふし友邦の仗義援助が其の精粹なる國體に發動し而して友邦の國運日に益々昌明なるは其の政教に淵源するもの實に深遠なるものあるを感ぜられ三千萬臣民に向つて友邦と一德一心の緊要不可分の關繫を固ふして國家永久の基礎を奠定すべきことを訓誡し給ふたのであるとしてゐる、而して建國宣言書が回顧され、更に執政として宣示されたる王道立國の要旨が省察されてゐる。この執政の宣示については、それが實に滿洲國のために開國創業の眞義を明かにし而して下萬世の爲めに經國治民の大法を立てられたものであることを說いてゐる。何をか道德を重すと謂ふや其の國命を立つる天地と其の道を合し億兆と其の德を同ふすることと是なり何をか仁愛を重すと謂ふや其の國政を施す天地と其の仁を一にし億兆と其の愛を共にすることと是なり天地と其の道を合して其の德を一にするは即ち是れ天に先んして天違はさる所以なり億兆と其の德を同して其の愛を共にするは即ち是れ天に後れて天時を奉する所以なり上下一體四海同氣化育萬物に行はれて相害せす栽成其の宜きに出て相悖らす、これを王道と名づける旨を記してゐる。

三

滿洲國皇帝が日本　天皇陛下と精神一體の如しと仰せられたるは即是れ大滿洲帝國大日本帝國と精神亦一體たるの義なり、精神の義たる如何、精神は靈府の主にして心德の帥なり、靈府の主を至誠と謂ひ心德の帥を執中と謂ふ、至誠なるものは明なり仁なり執中なるものは公なり義なり明にして仁なるか故に天地の間物として其の休澤に光被せさるはなく公にして義なるか故に化育の下一民も其の大法を悅服せさるものなし、至誠の相結ふところ玲瓏透徹氣同しく道合するところ渾然分たすしく一德一心に與る、詔書を三千萬民の友邦七千萬民と同仰ぎその內容を服ふて建設の步武に萬民いよいよ緊張の念を深むべきであらう。

靖國神社臨時大祭

靖國神社臨時大祭は二十七日各皇族殿下、陸海軍將星の參拜に續いて在京諸部隊の禮拜でいと嚴肅に執行された
寫眞1、海軍陸戰隊の禮拜2、陸海軍兩大臣の參拜

注視の的外蒙事情(七)

外蒙の變遷とソ聯邦の外蒙侵略

玆に於てソ聯は前記第六回大國民議會の決議の過激に失せるを認め、一九三四年末召集された第七回大國民議會に於て政策の一時的退却を餘儀なくされ、對ラマ政策に於ては、行政的宗教措置を停止し四十五歲以上のものは僧籍に在るを許す、寺院の家畜所有は之を認む、但し大寺院には政府代表を派遣するの宗教制限案を採擇し、經濟政策に於てはコルホーズ化の强制に手心を加へ、農牧及び商業の個人經營を認め、またコルホーズの改廢とその一部を生產組合に轉化する等の退却案を可決し、侮り難き勢ひで擡頭した反ソ氣勢の緩和に腐心してゐる、しかしこれとても時利あらずと看て退いた一時的僞瞞政策に外ならない、現に同議會では宗教制限案を採擇した反面に於てラマ寺院百三十ヶ所の取毀しを決議してゐる

四、國民黨と青年革命同盟外蒙政府の主權は憲法第一條に據つて勞農國民に屬してゐるが、國の最高主權を執行する最高政治機關は、外蒙の二政黨たる國民黨員と青年革命同盟員とを主成分子とする大國民議會である從つて七十餘萬圓の總人口中僅か一萬五千三百人の黨員を有する國民黨と、七千九百人の會員を有する青年革命同盟（以下靑同と略稱）との獨裁政治下にあると謂ひ得る、そしてそれを側面から操縱してゐるのが第三インター即ちコミンテルンである

國民は一九二一年外蒙獨立派の領袖を中心に國外にて結黨した國民革命黨を前身とするもので、最初の黨員は僅か二十三名に廻ぎず、しかも王公僧侶等の舊特權階級出身者が有力な黨員であつた斯樣な關係から其後數回に亘り黨內の掃除が行はれ、特權階級出身者の追放が試みられたにも拘らず、右派の勢力が常に優勢であつた、國民黨の黨則はソ聯共產黨のそれと同樣、極めて嚴格なもので（一）黨員は黨規に絕對服從すべき旨の誓はしめ（二）極端なる中央集權主義で黨の幹部は黨員に對し絕對的權限を有してゐる（三）各機關、各地方到る處に黨網を張り黨員の結束とその細胞組織化を圖つてゐる（四）入黨希望者に對しては一定の期間、黨員候補者として試練を受けさせる、この試練期間は出身階級によつて區別され平民は四ヶ月以內、貴族喇嘛出身者は八ヶ月以內を要する事としてゐる、之等は要するにソヴイエト制の黨治獨裁を目的として、ソ聯の介意に基いて作成されたものである事は明かである、黨員數は結黨一年後の一九二二年末には庫倫恰克圖を中心に一千五百名、その翌年は二千五百名、一九二五年には六千三百名に達したが、第一次の黨內の掃除によつて封建分子を黨內から驅逐し、三千二百名に減じたが現在は漸く一萬五千三百名餘を有してゐる、靑同會員は最初下級官吏の子弟で獨占されてゐたが、漸次貧民出身の靑年が增え、一九二四年には全會員の九割は遊牧民出身の靑年で占められた、現在ではモスクワ東洋大學で共產主義教育と外蒙赤化政策とを授けられた無產階級出身の靑年が主體となつてゐる、されば現在の靑同の正體は、第三インターナショナルの指導下に結成された外蒙靑年共產黨に外ならない

邊境における英・支提携具體化
昆明の蔣介石英領事と密議

當地に達した確報によれば昆明滯在中の蔣介石は同地において英國領事並に雲南當局と密議を重ねつゝあるが最近邊境における英國と南京政府との提携が具體化した、即ち

一、南京政府は四川省から雲南を經てビルマに通ずる自動車道路重慶、成都、金沙江の流域を通り昆明、騰越（ビルマ鐵道の末端）間が近く開通する

二、該道路に沿ひ鐵道、航空路の開拓に關し南京政府はこれに協力する

三、英國の西藏政策について南京政府はこれを默認する

丁香盧漫筆(九九)

◎冀東政權の將來

蘇蒙互助協約の成立が愈確實になつたとき支那は主權の手前默止し難しとありて抗議を提出した、すると此に對する蘇聯の回答が振つてる、何もそうムキになつ怒るものがないでは無いか、君の主權とか宗主權とやらも何等變りなく其儘で、まして先年の露支協定などとはさらく抵觸して居らぬ、ミス外蒙は依然として處女であり純潔その如し心配御無用といふのである、赤い家庭を作つて十年以上も共同生活をやり最後の起誓文迄取換しながら平氣で斯く白を切るのであるから人を喰つてるといふのか太てくしいといふのか露西亞ならでは出來ぬ藝當である。

×

然し一方から云ふと蘇聯の此の老獪なる手法は滿洲國に對し多大のアヴアンテージを與へる、或る意味で蘇聯樣々と云へるかも知れぬ、可哀相であり氣毒なのは矢張中華民國である。非戰地區を根城として出來た冀東政府が先頃池何とかいふ修好使節を滿洲國に送つて來た、其內此方からも答禮使が行き正常外交關係が成立して軈て蘇聯同樣滿冀互助防共協約といふやうなものが出來るかも知れぬ、其以前に冀察或は南京方面から冀東の脫離を防ぐ爲めに種々な交涉が開始さるべく、日滿側としては支那が全體として或は少くとも華北五省位丈でも日滿兩國と共に確乎たる對蘇互助防共協約を締結するならば、冀東政府位は取消しても宜敷いが、さなくば既定方針に依りて邁進、滿冀互助防共協約の締結も亦巳むなしといふことに相成らう此の際問題は主權であるが、支那から對蘇同樣主權侵害呼ばはりの抗議が來たら此方も蘇聯並に依然としてミスで籍はそちらにあるマヾムで無いから安心しろとも云へばそれまでゝあらう、尤も云はなくてもそれ迄だが。南京政府にしても外蒙位の大版圖なら無駄と知りつゝも抗議せざるを得まいが高が猫額大の冀東では抗議する程の勇氣も出でず自然默殺といふことになるかも知れぬ。

×

冀東政府長官の殷汝耕は冀東は決して小國では無い、歐洲の眞中にあるルクセンブルグなどに比せば遙かに大國であるとの御託宣である。山高きが故に貴からずと同樣國大なるが故に貴からず收入の多きを以て貴しとすで低稅或は無稅で天津海關の收入を全部奪つて終へば結局此の方が勝ちであらう、無稅にしたんでは收入皆無であらうと餘計な心配をするのは畢竟素人考で其實却つて收入がある、と云ふのは密輸默許で不景は看過して置き七日に一度か十日に一度目星しいものゝ寄つた頃を見濟し一網打盡的に密輸品の沒收をやる、此の方が手數もかからず文句無しで而かも收入は下手な稅金などより遙かに多いといふ話である。

×

先日天津の京津タイムス紙は例の調子でそれとなく毒付いて日本も『北支人の北支』『五省獨立』『農民自治運動』等々の夢が果敢なく破れ最後の山西赤化防止共同出兵の提議も素氣無く斷はられ、且つ南京政府の手で綺麗に片付けられたので仕樣事なしに冀東政府と外交關係を結ぶらしい是れ窮餘の拙策也と。又一方では支那靈西亞を對手に東亞和平の大計を行はんとするものが高か冀東政府位の利用では小細工を弄するも甚しと冷評する人もあるが此等の人には冀東の意味を了解して居らぬためであらう、就中英人などに個中の意味は解りやう筈はない。冀東即龜頭で冀東は唯だに北支の龜頭であるばかりでなく支那全土の龜頭である、今此を緊握してると、ことは相當意味のあること。如何さま上品では無く捐策たるに相違無いが、對手の死命を制するのに頭は上品だから殿つてはならぬと云ふことは無い、畢丸は下等だから握つてよい、況んや猥褻術流行の世をやだ、但し途中で小便されぬ丈の御用心が肝要なり。

商況欄(五月一日後場)

金銀市況

●上海標金

前引	一二四〇、八〇
後寄	一二四〇、八〇
步	四〇、一〇

●大連金鈔票

寄付	九七、二五
引	九七、二五
高	──
安	──
出來高	──

▲五月十三日限　五月二十八日限

寄付	九七、四〇	一〇三
步	出	來
引	九七、四〇	
高	──	不
安	──	
出來高	──	申

●大連鈔票銀大洋

現物	二四〇	二四〇

爲替相場

▲上海爲替

日本向	
第一回賣	一〇〇、二五
第一回買	一〇〇、五〇

▲倫敦向	
第一回賣	一志二片一分一
第一回買	三二分七

▲紐育向	
第一回賣	二九弗一六分三
第一回買	八分七

▲大連爲替

株式相場

▲上海向 一〇六、一五 / 六、一〇　出來高 二萬
▲西合向 一〇六、二〇 / 六、二七五

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一八、三〇	一八、三〇
豆新	──	──
錢鈔新	一四、〇〇	──
東新	一四一、〇〇	一四〇、五〇
滿鐵新	六〇、四〇	──
二新	九六、八〇	──
日產新	六九、五〇	六九、二〇
鐘新	一三一、五〇	──

▲奉天株式

銘柄	寄	引
滿取	一六、五〇	──
東新	一三一、五〇	一三一、〇〇
大新	一六、五〇	一五、九〇
日產新	六九、五〇	六九、四〇
鐘新	一三三、六〇	一三一、八〇
五品	一八、三〇	──
豆新	三一、一〇	──
滿鐵新	六〇、八〇	──
二新	三六、五〇	──
甲乙	一九、〇〇	──
電	──	──
同拓	一九、八〇	──
東亞	九、六〇	──
東興	二六、〇〇	──
滿毛	一七、六〇	──
滿先	一七、五〇	──
優	──	──
日曾	六六、〇〇	──

各地商品市況

▲橫濱生糸

	前場寄	後場引
現物	──	──
當限	七六四、〇〇	──
先限	七三二、〇〇	六五一、〇〇

▲大連麻袋

現物	三八錢
四月限	──

各地特產市況

●大連大豆

	寄付	引
現入	──	──
五月限	六、六九	六、八八
六月限	六、六八	六、八一
七月限	六、七一	六、七五
八月限	六、一二	六、七四
九月限	七、〇七	七、〇八

新京取引所市況

(五月一日後場)

	寄	引	出來高
現物(一石値段)	一八、五〇		一車
大豆	──	──	
高粱	──	──	
小豆	──	──	
玉蜀黍	──	──	
定期(混合百斤値段)			
大豆			
四月限	──	──	
五月限	六、〇七	六、〇七	三七車

手形交換高(一日)

金票	四三枚	二〇、五四一
鈔票	一枚	
國幣	三六枚	二、三〇八

●同 豆粕

	寄	引
現物	一、九二五	一、九二五
五月限	──	──
六月限	一、九五〇	一、九五〇
七月限	一、九五〇	一、九七〇
八月限	──	──
九月限	──	──
十月限	──	──

●同 豆油

	寄	引
現物	──	──
四月限	──	──
五月限	二一、三〇	二一、三〇
六月限	二一、一五	二一、一五
七月限	──	──
八月限	──	──

●同 高粱

	寄	引
現物	──	──
四月限	──	──
五月限	──	──
六月限	四、一二	四、一二
七月限	四、二六	四、二六
八月限	──	──

●哈爾濱大豆

	寄	引
五月限	四、六五〇	四、六五〇
六月限	四、六五〇	四、六六〇
七月限	四、六八〇	四、六八〇

●同 小麥

	寄	引
五月限	四、六〇〇	四、七一〇
六月限	四、七〇〇	四、七五〇
七月限	四、八〇〇	四、八二〇

●神戶豆粕

	寄	引
四月限	──	──
五月限	四、二五	四、二五
六月限	四、三〇	四、四〇
七月限	四、三一	四、三三
八月限	四、三一	四、三三
九月限	四、三一	四、三三

鮮魚小賣相場

(一日)(百匁ニ付)

品名	最高	最低
活鯛	一五〇	八四
氷鯛	⋯	⋯
中小タイ	九〇	四八
黒鯛	三二	二四
チヌ鯛	三六	一八
連子鯛	三二	三〇
アマ鯛	⋯	⋯
マクロ	⋯	⋯
カツオ	⋯	⋯
ニベ	二六	⋯
ブリ	⋯	⋯
ヒラス	四三	三六
サハラ	六六	六〇
サバ	三〇	一七
メバル	二九	一四
赤ムツ	三三	一二
アヂ	三二	三〇
カレイ	一二	六
ヒラメ	三一	九
ボラ	三二	八
コチ	⋯	⋯
コノシロ	一六	一〇
キス	四三	⋯
イワシ	⋯	⋯
サヨリ	三六	⋯
マナカツオ	⋯	⋯
ホーボー	⋯	⋯
カナ頭	一〇	六
ハマグリ	⋯	⋯
チクワ	⋯	⋯
タコ	二四	一六
イセエビ	一、二四	五四
車エビ	三〇	二六
カニ	⋯	⋯
アナゴ	二六	二〇
イイダコ	一二	一〇
イカ	⋯	⋯
水イカ	七八	六六
コエビ	⋯	⋯
タラブ	⋯	⋯
甲イカ	⋯	⋯
アワビ	六〇	二九
タコナマコ	七八	六〇
貝柱	一五	一〇〇
シジミ	六	⋯
ガキ	二〇	⋯
マグロ切身	⋯	⋯
ニベ同	⋯	⋯
ブリ	⋯	⋯
カチキ	一、四〇	八〇
サハラ	一、四〇	一、二〇
カマボコ	二六	一六

南滿

農業の機械化促進 研究座談會開催

總局主催十六日奉天で開催

【奉天發國通】國內產業開發の重大使命を有する鐵路總局では國內農業の劃期的發展を期する爲曩に全滿農業の機械化計畫を樹立鋭意研究を急いで居たが此程提案の大綱を決定したので來る五月十六日奉天ヤマトホテルに關東軍、實業部、滿鐵地方部農務課、公主嶺農事試驗場、鳳凰城機械農場、北滿經濟調査會其の他全滿の農事關係者多數を招待し機械農業に關する座談會を開催 席上總局側に於て決定せる具體案を提示してこれに對する各方面の意見を聽取する事になり其の成果は各方面より多大の期待を以て見られて居る

奉天故宮博物館 閉館さる

【奉天國通】滿洲國建國以來開館してゐた奉天省立故宮博物館は文教部の命令に依り先月三十日限り閉鎖する事となつた、右は昨年設立された國立博物館の充實を期し省立博物館を併合して重要陳列品を一ヶ所に集中して觀察者の便を圖る事となつたものである、尙故宮博物館には保管人を置き建物保護に當らしめ由緒ある故宮參觀方法は目下省當局で研究中である

"花見時に浮かれるな!" 大連署警告

【大連支局發】春だ櫻だみんな出て踊ろと浮かれ浮かれの期節ともなれば心の留守にコソ泥、交通事故と警察當局は幾多の事故に惱まされるが大連沙河口警察署では花に先だち一般市民の盜難豫防、交通事故防止、衛生並風紀上の注意に關し各方面に警告するところがあつた

旅大の"お花見"

大連都市交通會社 花見客吸集に躍起

【大連支社發】全滿待望の旅大の櫻、旅順は六、七日頃大連は十日頃が滿開と豫想されるが大連都市交通會社では看板塗替後始めての『お花見』時を心ゆくばかりのサービスで市民乃至は沿線よりの花見客に花の春を觀賞させようと旅順は天長節から五月十日まで大連は五月三日から十七日まで大正公園と星ケ浦公園でそれぐ趣向をこらして乘客吸引に大童である、星ケ浦には千個の雪洞に夜櫻の美しさを滿喫させようとし期間中はコロムビア、ポリドール等とタイアップしラウドスピーカーより流れ出るうるはしのメロデイにより浮きたつ春を唄はせ花見踊の輪を畫かせて身も輕く花に踊らせようと計畫されてゐる、此の外大連旅順の兩發着點に於ては櫻の造花で大連へ―旅順へと市民の心をかきたて增車々々による市民の足としての滿足をかち得ようと準備に汗だくの光景である

瓦房店金融組合 第七回總會

【瓦房店支局發】瓦房店金融組合第七回總會は二十七日午後二時半より市民倶樂部において開會したその內容を見るに現會員百四十四人口數二百六十三にして盜產十三萬六千餘圓で十年度の剩餘金五千四百圓圓弱の好果を來し居るがこの處分は

缺損補塡金千五百圓
特別準備金二千圓
翌年度操越金千九百圓弱

となり右案可決役員の選擧に入り議長監査役重任評議員補缺一名充當し第三頂定款變更は第三十條中地方流通硬貨とあるは小洋錢のことでこの小洋錢は本年四月一日以來小洋錢廢止の令により本文中の右六字を削除したるものにして提案何れも可決し爾後組合事務所新築の懸議ありしも目下考案中なりとの答へにより保留として散會したは午後七時頃であつた

村民の手により 國道を改修!

建平下窪間二百粁

【承德國通】熱河省建平縣地方は山嶽重疊、交通不便なるに加へ匪賊の橫行絕えざる現狀に鑑み縣當局では三中參事官以下警務指導官等率先し道路の建設精神を村民に鼓吹し國道の改修に邁進して來たがその結果建平下窪間二〇〇粁の國道は全く村民の自發的努力に依りこの程完成した 省當局に於ては右報告に接し非常に喜び村民に感謝狀を送る事となつた、因に同工事は土木業者の見積に依ると總工費約六萬圓と言はれてゐる

哈鐵混保大豆 成績

【ハルビン國通】哈鐵調査四月中旬の哈鐵管內混保大豆總寄託數は四四七〇、その內合格三七六〇、不合格七一〇で之を各線別にすると左の如くである（合格、不合格の順）

線	合格	不合格
濱北線	二二九	三九
拉濱線	一	四
濱洲線	一五	一
濱綏線	一	〇
京濱線	一〇七	二四
その他	二三	三
計	三七六	七一
前年同期	三三五	一七

第四軍管區 憲兵卅五名 採用

【ハルビン國通】第四軍管區では本年度第一次憲兵採用試驗を應募者百十三名に對し廿七八兩日に亙り學科試驗並に身體檢查を施行したが、此の結果卅五名を採用、五月一日より吉林憲兵訓練所に入所せしめることとなつた

五常縣治安隊 合流匪擊破

【ハルビン國通】廿九日午前九時五常縣城南方十八粁の荒地にて福富中尉の指揮する五常縣治安隊六十名は靠山、德勝、全勝、天合の合流匪百五十を襲擊、交戰三時間にして之を南方に擊退した、敵の遺棄死體十一、治安隊側の損傷不詳

東滿

全滿防護團講習會に 吉林關係者出席

廿五日より五日間新京開催

【吉林國通】全滿各地に編成されてゐる防護團の訓練を統一あらしめる爲關東軍及び警務當局者を講師として、來る五月二十五日より五日間新京軍人會館に第一回全滿防護團講習會が開催されるが、吉林にも特定聽講者として守備隊、領警、警察廳、防護團本部より各一名並に吉鐵その他にも自由聽講を慫慂し來つたので夫々人選の上之に參加する事となつた

飾られた五月人形

滿洲國軍訪問記（九）

山谷に轟く銃聲!

天崗匪追擊の 福富部隊

ハルビンにて 杉原特派員

福富中尉と宋少年、それに記者の三名が杜家に着いたのは午後八時頃、宵闇の田舍路をほど近い部隊の宿營地に向つた、茅屋の農家に數十頭の軍馬がざわついてゐる、部隊は前夜來此處に宿泊してゐるのである

低く垂れ下つた軒を潛つて土間に入るとアンペラを敷いた溫突の上には小さな食卓が置かれ蠟燭の灯が淡く燃え上つてゐる、ここの主人らしいボツくとした農夫が茶をいれて我々をそこに招じて呉れた

やがて福富中尉は地圖を展げ張隊長と多連長の三人で鳩首して策戰を凝議する、その際は低く壁に耳ありと言ふほどに警戒されてゐる

討伐計畫は明拂曉杜家東方八キロ、南家溝に於る全德匪の宿營地襲擊、部隊は午前二時半出發同四時配備完了と言ふので、部隊の配置は綿密に圖面を引いて說明されてゐた

「虱や南京虫に取付かれますよ、宿營地では頭は壁際に向けて寢て下さい」と注意を受けて、記者は九時半頃アンペラの上に橫はつた

□

周圍の物音にがばと跳ね起きた、腕時計を見ると一時半である、宋少年がもう起きてゐた拳銃と靴を兩肩から十字に掛けてゐる、「未だ早いですよ」と言ふ、庭に出て見る、ひと固りになつた軍馬の影が暗闇に動めいてゐるばさばさと糧まつを食つてゐるのだ

午前二時半部隊は勢揃ひした、騎兵連四十三名である、そこへ宋少年が二頭の軍馬を曳いて來て

「あんたこれに乘りなさい 大丈夫ですか」

と云ふ、馬に乘るのは初めてだが相手は小さな滿洲馬である、やがて後尾に喰付いてトツトと步き出した、前に行く白馬の影がぼやけて見える、周圍は咫尺を辨ぜずと云ふ闇である人馬共に聲なく唯一隊の進むざわくした物音のみ聞えて來る、馬蹄は殘雪を蹴り薄氷を踏み碎いて行く、急に部隊の行進がピタリと止つた崖から馬が落ちたらしい、ものゝ一時間ばかり經つた頃部隊は山谷に出た、一軒の農家があつて玆に步兵連七十餘名が宿泊してゐるのであつた此處から騎兵連を先頭にして步兵連が續いた、夜がだんだん白んで來て山影が浮び、畠のうねりや灌木の疎林が見えて來る

やがて部隊は目的地に到着した、フト氣が付くと前後に卅騎許りしかゐない步兵連と騎兵連の一部は既に迂回して包圍隊形を執つたのである、見ると五〇〇米位前方の木蔭に一軒の農家がある、福富中尉が双眼鏡を取り出して眺めてゐる

「居ない樣ですね、野郎共感付いて逃げ出したらしいんです」

農家には煙の上つてゐる樣子もなかつた、斥候は歸つて來て「沒匪賊」と云ふ部隊は農家に向つた、農夫が三人と女が一人居て「匪賊は廿九日以來やつて來ない」と云ふのである

仲々奴等匪賊を怖がつて本音を吐かんですよ、早く此家を燒いて了ふと良かつたんですが百姓が可愛想ですからね

そこへ各部隊とも集合して來た少憩後再び進發命令が下された、斥候が次ぎ々々に出され先驅部隊が搜索して行く今は夜もすつかり明け放たれた周圍の地形はどこか高原地帶を行く樣な感じで、遠く灌木の疎林が見え燒却部落が散見される、福富中尉が馬を返して來て「部隊の中ほどに入つて下さい、逆襲された時後は危險ですから」と注意を與へる、此の邊りは匪賊の蟠居地帶なのである、馬は相手を素人だと見たか容易に走り出さない、そこで宋少年を先に立てて漸く部隊の中間に割込んで行つた午前七時頃突如前方から「居るぞ」と云ふ聲が甲高く聞えて來た、山裾に馬隊を殘して忽ち部隊は各個に散つて行つた、間もなく向ふの山谷から銃聲が數發パンパンと響いて來た「やつた!」と宋少年が飛び上つた、が銃聲はそれだけで熄んだ、先驅部隊は逃走する匪團を追擊して前進してゐるのである

馬隊を殘して記者も拳銃を取出して少年と共に目前三〇〇米の高地に登攀して行つた、山頂には二〇餘名の兵が展開してゐる、そこへ福富中尉が歸つて來たので「どうでした」と訊くと

僕が兵二名を連れてひよつこり向ふの山（約五十米）に顏を出すと此處に二〇名許り匪賊の奴展開してゐてパンパンとやつて來たのです、直ぐ引返して部隊に連絡したのですが、少し手遲れかも知れません

再び向ふの山谷から銃聲が聞え始めた「駄目です、彈を費す許りです」そこへ一人の兵が灌木を搔き分けて上つて來た、手に匪賊の赤い腕章を持つてゐる、見ると「東北山林遊擊隊天崗第十三分隊副隊長寶財」と書いてある「何、天崗の野郎か」と云ふなり福富中尉の姿は繁みの中に消へて行つた、やがて銃聲は益々盛んになつた、味方は逃走する匪團を包圍して急迫してゐるのである

吉林邦人兒童 南滿見學

【吉林支局發】吉林日本小學校にては今回尋常六年生及高等科生全部一行百二十名にて南滿見學旅行を行ふこととなつた、出發は五月四日で奉天撫順、大連、旅順等を巡遊し折柄のお花見をも兼ねることになつてゐる、尙旅費に就ては二年前より每月旅行貯金を積立てゝ入るので今後の旅行はさして父兄の負擔にはならぬ由である

吉林省商會聯合會の 視察團赴日

【吉林國通】吉林省商會聯合會主催になる第二回赴日商工視察團は卅日午後八時五十八分發淸津經由赴日の途に就いたが、之は昨年省當局が主催した第一回赴日商工視察團が頗る好成績を擧げたので、本年も商會で人選の上、旅費の半分を補助して一行十三名より成る視察團を組織したものであるが、祭團長以下一行は約廿日の豫定で產業關係、商工方面に特殊を有し遙に先進國たる日本の實情を詳さに視察すると共に各地を觀光する筈である

吉林防護團員の 服裝制定

【吉林國通】吉林市防護團では今回新に編成替へをした團員日本側百五十名、滿側二百名に對し、防護團としての服裝を制定して着用せしむる事となつた

家庭

季節の愛翫物――彩鱗躍る金魚の飼方
水さ飼ことに注意をすれば永く育てられる！

金魚を飼ふ以上は、まづ殺さずに永く育てるといふ氣持と熱心さがなければいけません、飼ひ方によつては五年も十年もいや二十年の長壽さへ保つた例があります。

種類も値段もピンからキリまでありますが、和金、りう金らんちう、獅子りう、おらんだ、出目金等皆さんの趣味に合つた金魚を選べばいいわけです。買ふ場合、よく形のととのつたものを選びなさい、水平にしかもまつすぐに樂々と泳ぐ廣さがよいのです。尾ひれの曲つたもの左右の大きさの異なつたもの、泳ぎのよくないものはきつと金魚の肉體になにか缺陷のある證據で、それだけでも育ち方も惡い譯ですまた頭が重すぎて沈んだり、または水の表面出たがるのは勢力の弱つてゐるためです。

容器 は木舟かまたはたたきの器が最も理想的で大きさは最少限度で三尺と四尺に深さ六寸が適當です、普通家庭でよく使ふ各種各樣のガラス器も金魚長壽のためにはよくありませんが本當に金魚を飼ふためにはやはり木舟を作ることで、愛翫のためにはガラス器にせいぜい半日か一日位入れてまた木舟に移すやうにすべきです。水は頻繁にかへてはいけません、前記の木舟を標準にすると、四、五月は一週間目ぐらゐに、六月は五、六日目、七八月は四、五日目に、それから陽氣によつて適宜の換水をすべきです。水替は如何なる場合でも天氣のよい午前中にやり、水溫はその時節の氣溫と同じものが良いのです。半分づつ水を換へるといふ説もありますが、全部を同溫度のものと換へた方がいい樣です

上ひ はよしずか竹すだれなるべく古いものがいい、四、五月は日中は半分程、夜分は全部、六七月は六分通り、八月は七分通り、夜分は上蔽全部をとります、そのほか時候に應じて加減すること、水換へと同樣です、それから金網をかける事等も猫なでの危害を防ぐためにに忘れてはならないことです。金魚の數は前の木舟の標準にすると、二歳で雌雄四匹三歳で二匹位が適當で、多數入れるとやはりよく育ちません。金魚にはフ――と言ますが、フは絶對やつてはいけません。すぐ金魚はおなかをこはします。餌は赤ぼうか糸みみずに限りますもつともかつをぶし、めりけん粉

其他 人工榮養もありますが、ガラス鉢に入れる時など、人工榮養では美觀を損ひます、餌は大低やりすぎて殺してしまふのですが、大食は禁物で卅分位で食ひ終るのが普通で丁度適當で、特に愛翫用でガラス鉢でかふ人などは絶對餌をやつてはいけません、餌をやらずに二日に一ぺん位かへてやると狹いガラス器の金魚でもかなりの壽命を保ちます。

素晴しい流行！パーマネントウエーブ
絶體に不安や危險はない 日本人向きである

ハーマネントウエーブ流行

斯うウエーブが流行してまゐりますと、まるつ切りウエーヴの無い洋髮なんて何だが淋しくて見られないやうな氣分になるから流行つて全く不思議なものです。この頃内地の大都市は勿論滿洲のアチコチでも素晴しい勢で流行つて來たパーマネントウエーブだつて、これが五六年前初めて外國から輸入された當座はさすが先見の明のある新らしい美容家たちも恐らく今日の盛運を豫想することは出來なかつたでせう。ともあれ、パーマネントウエーブの流行は今日の驚異であります、で一體どうしてパーマネントウエーブがこんなに歡び迎えられるのでせう。

日本人向きであり長もちがする

元來日本人の髮は一般に硬直で腰が強くて、油でもつけて日本髮に結ぶには適當ですが形の自由な表現を貴ぶ洋髮には不向きなんです、これをうまく結ぶには餘程器用な方でもない限り、その都度專門の美容師の手にかゝつてアイロンの力をかりてマーセルウエーブでもしなければならないのです。しかもアイロンで整えた髮はそれこそ一寸湯にでも會はふものなら忽ち伸びてしまつて、いざお風呂へでも入らうといふ場合の厄介さはどなたも充分御體驗のことと思ひます、これがパーマネントウエーブをかけてチヤンとセットした髮ですと少し位の湯氣なんかビクともしませんし、又湯氣でやはらかくなつた髮は唯指先で適當にあしらひさへすれば、誰にでも容易にゝのへることが出來るのですから忙がしくて始終美容院に行けない人にとつても、又經濟的な立場から見ても大變重寶がられるわけです。しかもこのパーマネントウエーブ一回の施術で短くも半年普通十ケ月位は大丈夫保つのですから忙しい家庭の主婦や職業婦人だちに特別によろこばれるのも無理はありません。

優れた技術師と機械を選べ！

このパーマネントウエーブも輸入された當初は日本人が未だこの技術に不慣れなのと器械の取扱方をよく心得なかつた爲に、時々思はぬ失敗をやつて「パマーネントつて危險なものだ！」といふ先入主を一般に與へたやうでしたが、今日ではパーマネントの出來ない美容師は「時代後れ」とさへ見られるほどこの技術が進歩普及してまゐり、器械も外國品は勿論最近國産品でもすぐれた器械が後から後からと造られてゐる位ですから、優れた技術師を選びよい機械さへ使へば絶體に不安や心配はないのです、ただ施術の場合相當の時間かかかり毛髮に電流を通づるのですから「今日は頭が重い」といふやうな日には見合はせた方が安全ですし、又毛髮の質を全然變へてやはらかくするのですから「たまには日本髮にも」といふやうな方には不向でございませう、それとて半年か一年經つてウエーブがすつかりとれてしまへば少しも差支ないわけでございます。（中山女史述）

お料理獻を
味付け豆腐フライ（附合せトマト）

お豆腐を少し目先きを變へて西洋料理風に一致しますのもまことに美味しいお惣菜になります。

【材料】（五人前）
- 豆腐　一丁と三分の二
- 玉葱　四十匁（約百五十瓦）
- 醬油　コップに一杯と四分の一
- メリケン粉、パン粉少々宛
- 鷄卵　一ケ
- 胡麻油　少々
- トマト　二個

醬油と玉葱のみじん切を合せた中へ豆腐を一人前二つ宛に切つたものを浸し、メリケン粉、玉子、パン粉をつけてよく熱した十分の油で揚げトマトを添へます。

紙上衞生相談

衞生に關する讀者の御質問に本欄を開放致します。「紙上衞生相談係」宛お問ひ合せ下さい　用紙は官製はがき

問 近頃淚がよく出て困ります、外出の時等は更にひどくて難儀いたします。（一愛讀者）

答 それは流淚症と云ひ、結膜炎トラホーム、淚囊炎、又は淚を排出する鼻淚管の故障、眼瞼に濕疹のある時角膜に病氣の存在する場合等色々の時に來るもので、特に外出して風に吹かれると所謂迎風冷淚一層淚が出て參ります。昨今は風塵が烈しい折ですから單に其刺戟に依つても結膜に炎症を起し流淚と云ふ現象を生じます。前述のやうな病氣のある場合は其治療をせねばなりませんが外出に際しては防風防塵の意味に於て眼鏡を裝用するのもよろしいと思ひます。外出後に二%位のホウ酸水等にて眼を冷却するのも結構です。又刺戟物やアルコール飲料の攝取、オゾン等はさけねばなりませんが、あまり流淚が烈しい樣でしたら一度其原因を確める必要があると思ひます。（川田眼科院　川田醫學士）

荒廢の滿洲より　みどりの滿洲へ（二）
花の咲く樹を植えませう

栽植の方法は色々あるが最も普通なものは苗木を原野に植ゑるもの、種子を播くもの、挿木によるものゝ三種である、紅松とか落葉松とかは普通苗圃に種子を下して二、三年して苗木を山野に移植するのである、ナラ、クリ、クルミ等は直ちに山野に播種してもよし又苗木を育てゝ移植してもよいが、之は野鼠に喰はれる虞があるから、種子價の高くないナラに限るを適當と考へる、挿木で栽植するには柳、ドロの木あたりが適當であるが要するになるべく金のかゝらぬ方法でよく育つ樹種を選ぶ事が肝要である

苗木の植ゑ方

栽植の方法は苗圃で一年又は三年間仕立てた苗木を植付ける方法である

一、植付地の地拵

地拵とは植樹の障碍となる雜草木を刈取り又は代り去る事にして雜草木の少い處では施す必要なく、又之を必要とする處にても必ず植付地の全面に施す必要なくい所では條刈又は坪と稱し殊に滿洲の如く乾燥の烈し苗木を植付ける箇所のみを刈りその他の雜木は之を殘し夏は日蔭を與へて土地の乾燥を防ぎ冬は寒風を防ぐ樣に工夫する事が必要である條刈は滿洲の如く風の强い處では風の吹いてくる方向に雜草木を殘す樣にし又西面の地は西日の爲め土地が著しく乾燥するから西日を遮る樣に刈取る方がよい然し一般には地拵、植付、下刈等の作業を容易にする爲林地の傾斜に沿て水平に行ふ事が多い、刈取つた雜草木は植付に支障のない限りその儘放置する、又現存木は成る可く保護樹として殘し置く方がよい、殊に滿洲の如き風强く嚴寒の土地に於ては此の方法がよい

二、植付季節

植樹季節は春秋二季であるが吾邦に於る實驗の結果によれば濶葉樹にありては一般秋植唐松、紅松、杉松等の針葉樹にありては春植の方が成績良好とされてゐる、特に春は風强く苗木が乾燥し易いから春植のものは苗木の乾燥を防ぐ樣に充分注意せねばならぬ春季植付は普通土地の解氷が始まり全部解氷が終らない內に着手し、新芽の開く前に終るを必要とする、即ち苗木の根が既に少しく成長を始め水を吸ひ上げ芽の緩み始め頃が最適期である

春季植付は遲きに失するは早過ぎるよりも障碍が多いから植付作業着手が遲れる處ある場合は苗木を掘取り日蔭に假植して發芽を制する必要がある

秋季植付をするには落葉する樹種を選び結氷期前苗木が生長を休止し落葉し始めた頃が最適當である（即ち滿洲に於ては）北滿地方は九月下旬―十月中旬、南滿地方は十月上旬―十一月初旬頃が適當である

三、苗木の植付

先づ唐鍬を以て植穴を掘る石礫地は先分丁寧にし植穴に石礫の殘らない樣注意を要する、最初附近の落葉雜草を剝ぎ取り穴は深く苗木の根の擴りよりも廣く掘り石礫草根等を除き土壤を細く碎く斯して掘上げた土を少し植穴に入れその上に苗木を稍深目に安置し（山地では苗木を傾斜に上方に傾く樣に植ゑる）細土を七、八分目位に覆ひ、少しく苗木を引上げる樣にし土壤を根の間に充し主根の先端部を眞直に保ち乍ら十分强く踏み固め殘りの細土を入れ地面を水平に均し、更に附近の落葉等を根本に集め置く樣にする

苗木は一般に深植を嫌ふものであるから可成淺く植ゑ苗圃の土中にあつた時と同じ程度にするか又は一、二分目に植付けるのが最も適當である

苗木は植付作業中非常に乾燥し易いから古ザック又は莚にて苗袋を作り携帶する必要があり特に苗木の乾燥を防ぐ本法としてとたん又は木製の苗木箱を作り水を盛り苗木を浸して携帶するのがよい

ラヂオ

けふの番組
（M・T・C・Y　新京放送局）二日（土曜日）

訪日宣詔記念日

（朝）
- 六・〇〇　建國體操
- 六・二〇　ラヂオ體操（東京）
- 六・四〇　中等滿洲語講座（大連）　講師　秩父固太郎
- 七・〇〇　中等日本語講座（奉天）　講師　近藤喜助
- 七・二〇　氣象通報（大連）　朝の音樂（大連）
- 引續き　管絃樂
  - 一、「カルメン」より（イ）密輸出者の行進（ロ）兵士の交替　ビゼー作曲
  - 二、ハンガリア狂詩曲二番　リスト作曲　フイラデルフイヤ交響樂團　指揮　ストコフスキー
  - 三、レオノーレの前奏曲　ベートーヴエン作曲　コンセルゲヴー管絃樂團　指揮　W・メンゲルベルグ
- 八・三〇　經濟市況（東京）
- 九・〇〇　講演と體操　一、建國體操デーに當りて　大滿洲帝國體育聯盟專任主事　田中眞茂　通譯　于希渭
- 九・三〇　二、建國體操　回ラン訓民詔書奉讀式典＝西公園式場より中繼＝
- 一〇・二〇　經濟市況（大連）
- 一〇・三五　經濟市況（大連）
- 一〇・四〇　經濟市況（東京）
- 一〇・五九　時報（東京）
- 一一・〇五　訪日宣詔記念日滿交驩放送＝全日滿中繼＝
- 一一・四〇　ニユース（東京・引續き新京）

（晝）
- 〇・〇一　經濟市況（大連・引續き新京）
- 五・〇〇　野球試合實況（東京）　東京大學野球聯盟リーグ戰＝明治神宮外苑野球場より中繼＝　法政對明治　帝大對立教
- 左記の時間には野球を中斷す
- 一・二〇　ニユース（滿語）
- 二・〇〇　經濟市況（大連）
- 二・五〇　經濟市況（東京）
- 三・〇〇　ニユース（東京）
- 三・三〇　經濟市況（大連）

野球なき場合は左を追加す
- 〇・二〇　晝の演藝
- 〇・四〇　建國體操
- 一・〇〇　滿語演藝
- 一・三〇　滿語演藝
- 一・五〇　滿語演藝
- 二・〇〇　日用品値段（大連市況に引續く）
- 三・〇〇　ニユース（東京・引續き新京）
- 三・三〇　經濟市況（大連・引續き新京）
- 四・三〇　ニユース　演藝（鮮語）
- 四・五〇　ニユース（英語）
- 五・〇〇　子供の時間（大阪）　幼兒への昔噺　オハナシクラブ　村岡花子
- 五・二〇　コドモの新聞（東京）
- 五・二五　氣象通報・番組豫告

（夜）
- 六・〇〇　ニユース（東京）
- 六・二〇　今晩の番組・官廳公示
- 六・二五　政府公報（滿語）
- 六・三〇　講演　迎御訪日一週年（日譯付）　新京特別市長　韓雲階
- 六・四五　歌謠曲（奉天）
- 七・一〇　常磐津（新京）
- 七・三五　管絃樂（哈爾濱）　MTFYサロンオーケストラ　指揮　パシンパジル　一、ファウストよりの幻想曲　グノー作曲　二、我が夢「ワルツ」　ヴアドトイフエル作曲
- 八・〇五　ラヂオドラマ（大連）　春遠からず　放送文藝懸賞入選作　竹內節夫作
  - 時　三月初め　所　公主嶺附近の部落
  - 人　滿人王惠貴　喜多流一郎　妻　芳子　八坂のぶ子　娘　惠子　吉川菊枝　山本上等兵　伊井島秀雄　吉田一等兵　澤井壽三郎
- 八・三〇　時報ニユース（東京）　引續き　ニユース
- 八・四〇　ニユース・經濟市況　氣象通報・番組豫告
- 九・〇〇　吹奏樂　新京軍樂隊
  - （一）！！！　指揮陸軍々樂上尉　張發　一、行進曲　カール王　二、舞曲　ランサース　三、訪日記念日滿交驩歌
  - （二）！！！　指揮陸軍々樂上尉　山田慶藏　一、序曲　騎砲兵　二、行進曲　威風堂々　日本國歌　滿洲國歌
- 九・三〇　舊劇（奉天）　忠孝全　鳳鳴戲劇社
- 一〇・〇〇　滿洲演藝（哈爾濱）　清唱　一、坐宮　二、上天台　梅花大鼓　指日高陞　唱　達花　胡琴　魏師傳　月琴　陶師傳　三絃　何雅軒
- 一〇・三〇　北滿の時間（哈爾濱）

訪日宣詔記念……日滿交驩放送
前十一時五分東京新京より

訪日宣詔記念日を迎へこの意義ある日を祝福して日滿交驩放送が左記プログラムにより全日に中繼される

（東京より）
- 一、滿洲國々歌　カルフオアー合唱團　ヴオー
- 二、長唄　花くらべ（岡鬼太郎・作　杵屋佐吉・作曲）　唄　杵屋勝五郎　唄　杵屋清五郎　唄　杵屋藤吉　三味線　杵屋佐吉　同　杵屋佐之助　同　杵屋佐次郎外三名　囃子　福原百之助外

（新京より）
- 一、日本國々歌　新京公學校兒童　ピアノ伴奏　福井はじめ
- 二、滿洲古樂　新民京劇社古樂班演員　（イ）雙龍會　（ロ）萬年歡

溫習會第二日
常磐津「乘合船」中繼
後七・二〇　公會堂中繼　お馴染み綺麗どころ出演

藤波會勢好會第三回溫習會第二日目はけふ午後五時より記念公會堂において初日同樣豪華プロをもつて開演するが放送局では午後七時十分より同三十五分まで常磐津「乘合船惠方萬歲」を中繼放送する

- 淨瑠璃　桃園照枝
- 同　曙きかく
- 同　すみれ三千代
- 同　桐壺茶目子
- 同　すみれ吳羽
- 三味線　桃園桃作
- 同　すみれ清香
- 同　南海都
- 同　すみれ富美香
- 上調子　桃園扇太郎
- 補導　常磐津三春太夫

筑波根の、このも彼面と口眞似に、問はず語りを庵崎の、積に素顔の富士額、蓮葉者でも惡性は、觀音樣へ願籠めて、裸體參りの子飼から、背中にひどの出仕事を、たたき大工の共稼ぎ、そんなお方と添ふならほんに嬉し燗酒白酒と、そ海上遙に見渡せば「五色彩る寶船よい乘合とわせられても色乘り遲れたはいぶかしな、なにや賢いそれさまたれど、エ、戀知らじよさつしやれた、エ、戀知らず「イイヤ悔むな、そこへ氣のつかぬ、へ、へ、太夫ぢやないけれど、何れも樣へ改めて御祝儀由し入りのある「芝居を一寸見して、ツイ遲なはる御無禮と、足を早めて來りける才藏「ヤレ〳〵嬉しや〳〵わしは又向ふへ越える船ぢやと思つた、ヤア美しい姉え達が是は有難い〳〵萬歲アコレ〳〵其樣に、女さへ見ると埒もない事を、女のない國から參つた樣に、無性に有難がる事はないわさ第一外聞が惡いわさ、才藏アコレ〳〵太夫樣遙々三河の國から斯うして來るも、お江戸サア美い姉え達を見物がてらぢやてマア一服吸ふべいかな　通人ホホウ扱は足下達も頗る好色家と見えるネ、極られただのハ、、、、ヤ頼母々々、大工併しながら袖振合ふも他生の緣だ、何ぞ面白い咄を、みんなやつけねえ　女ほんにそれがようござんせう　大工「先づ初春の事だから白酒屋さんおめえ　先へやつけねえ白酒屋右樣ならばお望みに任せ、抑も白酒の始まりは富士の白雪は朝日でとけるとけたがどうしたえ娘島田はサ、口舌の中でサねてとける　ヤレヨイ〳〵、好い評判で賣りかける　通人「是は白酒の先生妙妙、ハ、、、、才藏「サア〳〵是から番匠どのお手前の世ぢや　大工、仕方がねえ、そんなら大工道具になぞらへて、のろけ咄をやッつけべいぞも「番匠の始まりは叩き大工のこちとらが聞いてもうはの空仕事、うそを突墨差曲尺を、つかひなれたる友達と「直に裏釘返して後はほんに辛氣な溝鉋互に二世と墨さして誓文くさび離れぬ仲を「此頃は聞けばお前はしんき手斧、又新店に廻し挽、憎や節木の性わるさ」…（中略）「共に嬉しき乘合に驟春雨と鳴りひゞく、初雷に人々は我家をさして急ぎ行く

常磐津出演の綺麗どころ――右上から桃園照枝、曙きかく、すみれ三千代、桐壺茶目子、すみれ吳羽、同清香、南海都、桃園扇太郎

今晩は滿洲全プロ！
放送文藝懸賞入選作　ラヂオドラマ　春遠からず
竹内節夫君の作品
〔後八・〇五　大連より〕

- 時　三月初め
- 所　公主嶺附近の部落
- 人　滿人王惠貴　喜多流一郎
- 妻　芳子　八坂のぶ子
- 娘　惠子　吉川菊枝
- 山本上等兵　伊井島秀雄
- 吉田一等兵　澤井壽三郎

王惠貴は公主嶺附近の百姓家に生れた若い時に長崎に渡り支那料理屋を開業し日本人の妻をめとり女の子惠子までもうけた、その後東京で支那料理屋として可成りの評判もとつたのであるが、滿洲事變の爲に日本人からは白眼視される顧客は無くなるし遂に親子三人故郷、公主嶺に歸り、親の業を繼いで百姓をしてゐる、春は近いが吹雪の夜である妻芳子と玉惠貴の對話はかくて始まる、妻房子は公主嶺の草深い田舍で淋しく春を待つのに堪へ難い苦惱を覺えて居る、日頃顏を合せるのは滿人ばかりで日常を語り合ふ日本人とて居ない、芳子は內地に歸り又元の業を續けたいと考へて居る。

王惠貴は迫害された當時の追想が今迄も苦しい記憶として殆りこゝで百姓をして安東に生計を立てる事に充分の滿足を感じてゐるかくて二人の日頃のいさかいもこの樣な二人の感情の食違ひから起るのであつた、そしてこの吹雪の夜雪中行軍をしてゐて、本隊にはぐれた二人の日本兵士がしばらく休息しながらの話に芳子は、又王惠貴も、新しい王道樂土の滿洲に對する認識を深め自分等の務めを新しく覺悟し新しい希望に燃えて近い春を待つのであつた。

奉天からの歌謠曲
よねや幾松さんが唄ふ
伴奏…MTBYギター・アンサンブル

後六・四五

夢の逢瀬

花の逢瀬は一年の便りに待つばかり
ほろりと散つた散つた昔が惜しいぢやないが
そゞろ心の返り咲き
君に逢瀬も一年の水の流れに知るばかり
さらりと返す返す瀬波をうかぶぢやないが
女ごゝろは霧しぶき
夢の逢瀬は一年の筆の命も影
ほろりと滲むにじむ薄墨泣けばかり
るぢやないが
しぐれる心の返し文

…齋藤元さん

…大本シングリーさん

夕日は落ちて

荒野の涯に日は落ちて遙にまたゝく一つ星
故郷棄てた旅故にいとし黑馬よさびしかろ
夕日は落ちてたそがれを今日もとほとほ旅鳥
戀しき者よ思出よいつの日幸福はめぐるやら
七つの丘も越へたれど湖のほとりもさまよへど
朝霧夜霧の鐘やさしきものは風ばかり
旅鳥
泣くも笑ふも短い命まゝよ捨身のそれ旅鳥

苦い幻破れた戀よ消えてみ空のそれ煙となれ
どうせやくざの行く道ひとつ
風も吹け吹けそれ雲も飛べ
戀に破れて浮世をすねりや思ひ出せとかそれ花が散る

…幾松さん

國境を越へて

踊り歩けば西東夜は悲しい馬車の車
小窓に飾る寶石は北のみ空の七つ星
空の彼方に出る月は楡の花咲くハルビンか
戀し悲しのバラライカ彈いて踊れば夜が白む
吹かれ吹かれて今日も行く馬車はその日の客次第
あすは渡ろか松花江あたしやその日の風次第

男のまごゝろ

つらい浮世の身をすねて誰が涙で注ぐのやら
夜の酒場で酌む酒は何故か今宵もほろ苦い
やくざすりやこそ今更にぢつとこらへてゐるものを

…高杉晋さん

さめてはかない秋風に熱い血しほが又燃へる
雨も夜風も聞いてくれ戀にや泣かれど眞實には
命一つをたよちらす悲し男のまごゝろを誰か知る

波止場がらす

港潮風さ霧の中で待つて待たして夜を明す
波止場がらすを波止場がらすを誰か知る
船は出て行く鷗は歸るおれも行きたや鳥でさへ
親を慕ふて飛ぶものを
波止場がらすとそしらばそしれくわへ煙草で歸り行く
男心は男心は乙なもの

滿洲想へば

ハアまたも雪雪夜風のさむさ遠い滿洲がエー滿洲が氣にかゝる
ハア思い出すとも出させちやすまぬ命捧げたエー捧げた人ぢやもの
ハア空も心も未練ぢやないが滿洲想へばエー想へばくもり勝ち

會津磐梯山

會津磐梯山は寶の山よ笹に黃金のエー又なりさがる
スッチョイスッチョイスッチョイナ
東山からひにちの便り行かざなるまいエー又顔見せに
忠義一途のあの稚兒櫻散りてその名もエー又白虎隊

多木肥料の光榮

兵庫縣加古郡別府町株式會社多木製肥所製品しき島肥料は同社が苦心の結果特許を得たる方法で製出した優秀肥料で既に農業家の絶讃的好評を博して居るものであるが畏くも今回須磨離宮御內苑用として同肥料御買上げの光榮に浴しこの程上納したが同肥料はさきにも京都御所へ上納の光榮に浴したもので再度の光榮に同社では感泣して居る

學藝

大連文壇の近況

武川葉之輔

嚴密にいつて滿洲に文壇といへる一つの文化層があるかどうかといふ問題に就ては、各自にそれぞれの意見があるであらう。或る人は『滿洲には文壇と稱するほどのものはない』と否定するし、『いやとも作品は創作されてゐるし幼稚ではあるが文學團體が存在し、文藝運動らしきものが行はれてゐる限り、文壇と稱するものが存在する』と肯定派の人々も居る。

私はさういふ難い意味で『大連文壇』の存在を肯定して、『その近況』をレポートするものではない。輕い意味で、つまり大連に居住して居る作家達の活動やら、文藝團體の動きといつたものを報告する考へである。

事變前まで在滿邦人間の文藝運動の中心地は殆ど大連であつた。現在でもその樣な傾向にある。然るに事變後變化したことは奉天、新京などで從前より一層文藝運動が活況を呼び起し、大連と對立し得るまでに水準が高まつたことである。奉天、新京等にはどのやうな文藝團體があり、具體的にどのやうな活動をして居るか詳かには知らないが、同地の新聞文藝欄等を通じてアンビシャスな氣運を充分感取することが出來る。（新聞文藝欄は土地の人達の具體的な活動を反映してゐるからこそ）

斯樣に大連、奉天、新京と滿洲に於ける邦人の大集合地である土地にそれぞれ同じ程度ほどの文壇を形成してゐる現狀であるから、これを一まとめにして『滿洲文壇』といふ廣い意味のものに完全に融合さして『滿洲文學の爲に！』といふ文藝運動を起すことが必要ではなからうか、換言すれば、個々の分散狀態にある文藝グループを横の組織によつて堅く結びつけ『滿洲文壇』を强化することである。

大連は『大連派』、新京は『新京派』と自稱してお互に『お山の大將』で居ることは決して見よいものではない。

『新京の××氏が大連派の連中に對して盛んに論爭を挑んでゐる』といふような言葉は論爭を挑むといふ言葉自體は決して惡くもなんでもないが新京派、大連派と區別し對立的なものと爲すことは、現狀の滿洲文藝界に於ては考ふべきことではないかと思ふ。

又、文藝批評にしても單に惡口を叩くだけでは無意味である、何故に……と科學的な批評が必要である。ことは判り切つて居るのであるが……この樣な文藝批評が最近各所で流行して居る。

さて、本道に返つて『大連文壇の近況』を書くことにしよう。

—◇—

『滿日學藝欄』に土地の人々の作品なり評論が掲載されるようになつたことを先づ第一に指摘しなければならない具體的な紹介はやめるが、この傾向は何といつても喜ぶべきことであると思ふ。大連のみならず滿洲各地に寄與するところが非常に大きいと思ふ華だつた大連新聞なき後唯一の滿日學藝欄の存在は大連文藝界の生吹きであつた。それが積極的に土地の人々の爲に解放？されたのだから喜びは一層大きいわけである。

『作文』の同人達に對して先づ敬意を表さなければならないことは、常にたゆまずコツコツと勉強し續けて居る態度である。即ち同人達が文學といふ帶によつて堅く結び付けられ、眞摯な態度で文學の道を精進してゐることである。個人的には靑木實氏が主體となつて、隔月一回ではあるが同人誌『作文』を出版し、同人の勞作を發表して居る。

『作文』とは少し違つた意味で『滿洲ペン倶樂部』が最近活動を始めて來た、が內容と名稱とが少しく違ふやうなので各方面から誤解を受けて來て居るようである。もともと『ペン倶樂部』は『滿蒙評論』の一部にあつて作品を發表するのが總てゞある同人的なグループではなく『文藝を研究する』大きな主旨を持つた集りである。

詩人の集りに『新興詩社がある』これは齋藤欣志郎氏が個人的主體となつて活躍し第一回『詩と繪』の展覽會を昨年秋開催したが、また第二回展を五月中旬喜久屋で開催するそうである。勇敢な活動性に對して敬意が拂はれる。

大連にある文藝諸團體の主なものは大體左のやうなもの（その他のグループについては不幸か私は多くを知らない）であるがこの外大連で發刊される月刊雜誌が文藝方面に對して關心を持ち作品を掲載して居る傾向も注目に價しよう。

最後に私が大連文壇の人々に希望したいことは、若し人々のうちに大連中心主義的な傾向を持つて居る人が居るならば、その考へを捨て、新京なり奉天の文藝人と握手することに努力して欲しいと思ふことである。强力な握手によりて全滿的に『滿洲文學』を育てゝ行かなければならぬから……このことは又奉天、新京方面の人々にも希望出來ることである。（四、二三）

爆擊機

白ちやけた新京美協展
—今村氏の作に異彩—

里見勝藏の「現代畫壇の批判」を讀むと次のやうな一節を見出す。（『新潮』五月號二五頁）

「そこに忘れられたものは人間性、本能であつた。この本能と理智、精神と物質、水と油がよき調和を保持してこそ、本來の人間生活であるにもかゝはらず、分離し　偏重し、なほ强調していよいよ混沌たる世相に遭遇したのである。この爭鬪に疲勞、倦怠、悲觀し意氣銷沈した生活力に乏しい無性格な者達は因襲的な保守的な者どもは、現狀維持に執我する。人生や藝術は理窟や理想では解決できぬ。論理を假設して、それに實行をともなはせやうと强ひる苦しさに喘いでゐる。論理の假設が直に希望や理想となるものではない。生氣潑溂たる生命にこそ創作と新時代が期待されるのである。」

私が此處にこれを引用したのは、けふ公會堂で新京美術協會の第二回試作展を觀て來て、その看後の感想をまとめたかつたからである。

私はどのやうな人々が新京美術協會に集つてゐるかをよくは知らない。從つて、私は畫面の下に貼られた小さな書題と作者名を記した札はチラと見過して、畫と彫塑だけを觀て行つた。時季の關係からか、冬の郊外の寫生が多かつた。四十餘點のうちの半ば以上であつたらう。それから若干の人物—特に少女像。都會の斷面を描いたもの少々。靜物少々。

だが、里見の言葉を借りれば「潑溂たる生命によつて」創り出された作品を私は何處に見出すべきであつたらうか？　兵士をねり上げた今村氏の塑像にそのやうなものを見出し、「羊のかへる路」「林檎のある靜物」「樹木と家のある冬の郊外」などにややそのひらめきを見た私は「論理の假設」どころか展覽會の蕪雜な構成から白ツポイ埃ジミタ結論を强制されざるを得なかつたのである。私らに訴へる力がない。私らを惹きつける意圖がない。私らの熱情を燃燒させる氣魄がない。このやうな私の總體としての印象は誤つてゐるだらうか？（志矢牙留）

學藝消息

▲野田武太郎氏　在奉天の同氏は光風會展に「煉瓦窯のある風景」入選した

▲幸壽氏　第六回獨立展に入選

▲折田勉氏　同じく獨立展に入選

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御寄贈相成度し（係）

▲法律時報（四月一日號）舟橋諄一「新婚より家庭生活へ、六」は妻の無能力の場合を述ぶ、質疑應答に戸主が其の家の長女と戀した場合、保險金の受取人の問題に答へたものがある、一體に滿洲特有のニュースなり問題なりが少いのは編輯方針の偏向であらう（大連市播磨町一〇五、法律時報社、二十錢）

▲正金週報（第十四號）英佛信用の設定、四分利付白耳義公債の借換、佛蘭西銀行總裁演說、哈爾濱支店報告の「北滿の豚毛に就て」等を掲載（東京市日本橋區本石町一ノ六、橫濱正金銀行調査課）

▲東亞之日本（四月號）石川鐵舟「蘇聯極東三大資源概觀」中御門蘇民「經濟進出のトップを切つた紡績業」興安山人「祖國の前衛第四次移民入植」大原蕉園「樂土に萌ゆる滿洲麥酒」等（東京市豐島區西巣鴨町四ノ一八八、東亞之日本社、四十錢）

般若心經（三七）

鹽谷壽石

文曰

「是大明呪」

官場現形記（44）

李寶嘉作　山泰裕譯

▌第四回の九▌

もともと、この藩台が賣官をやる事は護院の耳にもはいつてゐた。で、この職はもうきつと賣約濟になつてゐるのだな、と考へ、ひとつ彼奴と會つて見やうとも思つたのだが「おれだつてその內には職が變るのだから、何も嫌がらせをやらんでもいいわい、なんとかすると言つてゐるのだから、その內に好い所を見付けてくれるだらう」さう思つて應諾し「ま、よろしく頼むよ」と言つたのだつた。で、藩台はやつと辭去した。

暫らくして自分の役所に歸り、飯を食つてから阿片をやつてゐると、彼の弟たる三大人が部屋に這入つて來た。

「兄さん」

さう聲をかけてである。藩台は何事だと問ふた。三大人が言ふのには

「昨日九江府が空席になつてしまひましたよ。今朝早く僕の友人の所にあそこの首縣から電報が來ましてね、その友人宛に二千兩送つて寄越しましたよ。その首縣に一二ヶ月代理をやらせて呉れと言ふんですよ。その職だつて大した事も無いんだが、ただ面子上體裁がいいからつて譯なんでせう。」

藩台は言つた。

「九江府は長い病氣だなんて事も聞いてゐなかつたが、どうして死んだんだい？」

「まだ空席になつたといふ事が判つてるだけで、病死したのか、親の喪に會つたのか判らないんです。電報にはつきり書いてないのでね—」

藩台は、

「一つの知府の職つてものはそんな金額ぢやないね。若したら、知府がたつた二千兩なんだつたら、州縣と一級しか違はないぢやないか！」

三大人は、

「空位の値段も內容如何によるですよ。この代理はたつた三ヶ月の事ぢやありませんか？」

藩台は

「代理だつたら辭令は要らんのか？」

三大人は

「そりや要りますよ」

「そんなら少くとも五千兩は出させう。代理が三ヶ月だとは言つてももう直ぐ稅金取立ての時期が來るぢやないか。なんだかんだと、一萬兩ぐらゐの收入はたしかだぞ。それだから今その半分を出させるのは當り前みたいなもんだ。それに此の一萬兩つてのも、堂々とはいつて來る金だけど少し小手先が利いたらな、まだ底には底があるつていふもんだ—」

三大人は兄貴がさう言つてゐるのを聞いてゐる間に、自分でフッと一つの考へが浮んだのである。

「兄さんの話は間違ひはありませんよ、さういふわけだつたらひとつあんたが自分で僕の友人の所に行つてですね、僕の友人に電報を打たせたらいいですよ、五千兩からビタ一文缺けても駄目だとね。そしてすぐ返事を電報で寄越せと言つてやるんですな。さういふいい餌だから食ひ付くでせう、それに、省城にだつて候補者は澤山ゐるんですから！」

藩台は言つた。

「さうだともさ！　お前早速その友人を探して、どつちとも直ぐ返事を出させうよ、若し向ふでいやと言ひやまだ外に人はゐるんだ」

もともと此の藩台は何といふ姓であつた。彼には何といふ字と音の通ずる「荷包」といふ綽名がつけられてゐた。そしてこの三大人には「三荷包」といふ綽名がまたつけられてゐたのである。中には、この「荷包」は底無しだ、幾らでもはいるだけ入れて決してこぼさないなぞと言ふ者さへあつた。

さてこの「三荷包」は兄貴の所を出て來ると、轎にも乘らず、小さなボーイに提灯を持たせて眞つ直にその友人たる倪二といふ男の所へ行つたのである—すなはち電報を持つて彼の所へ相談に來た友人である。（つゞく）

陽光と青空慕ふて 西公園益々賑ふ
卅日は七千餘人の入場者 野遊會も續々申込む

新京西公園は櫻が咲いたのと今年から始められた子供の驢馬乘りが人氣を呼んで大人も子供も西公園へ西公園へと大した人出であるが三十日の招魂祭には本年のレコードを破つて七千百一名の人が繰り出し驢馬乘りは二十五日から三十日まで二千二百人此の料金百十圓で一日平均四百四十人の坊ちやん孃ちやんを乘せてゐる、公園内の野遊會もいよいよ卅日あたりからどしどし申込みがあり五月中の申込は一日までに決定したものが左の如くである

▲二日國務院總務司二百四十人（誠忠碑前）角田氏三百人（誠忠碑裏）同寶山燐寸工場五百人（海軍記念碑前）同德島縣人會百五十名（誠忠碑前）▲十日滿洲炭鑛會社三百名（海軍記念碑前）

人の道敎團五百人（誠忠碑前）▲十七日中央郵便局三百人（誠忠碑裏）國際運輸二百五十名（誠忠碑前）城內料理店組合三百名（海軍記念碑前）宮崎縣人會三百五十名（園內トラック下）

▲二十四日交通部路政司三百五十名（誠忠碑前）石川縣人會二百五十名（誠忠碑裏）▲卅日、三十一日滿洲軍用犬協會共進會、▲三十日國道局三百五十名（海軍碑前）

司法部に次長制施行
初代次長に古田氏
日系次長三人、各機關充實す

財政部次長の後任は現財政部總務司長星野直樹氏に內定、近く正式發令をみる筈であるが更に滿洲國政府では司法部に次長制を施行、初代次長に現司法部總務司長古田正武氏が昇進することゝなつた、これによつて日系官吏の次長は大橋外交部次長を加へ三次長となり各部の陣容は充實された譯である

路警の阿片密輸

一日午後三時四十分新京着ハルビンからの列車が新京驛に到着後擧動不審の滿人路警が集札口に出て來たのを驛前派出所勤務宮川巡査が發見、誰何すると逃走を企てたので追跡逮捕すると案の如く鐵路局警務段制服の下に枕樣の生阿片九百五十匁（時價三百五十圓）を隱匿してゐたのを發見した、右は吉林省懷德縣生れハルビン鐵路局警務段勤務路警劉家鳳（二〇）といふ男で警察勤務を奇貨に前後數回に亘つて生阿片の密輸をなした旨自供した

第六十九特別議會 昨日召集さる

【東京國通】廣田內閣の下に第六十九特別議會は愈々一日召集された、この日衆議院は午前九時本會議を開き豫定の通り正副議長の選擧を行つたが、貴族院も亦同刻本會議を開いて部屬を決定、部長、理事の互選をなし成立の手續きを完了した、斯くて今期議會は未曾有の事件の後を受けて戒嚴令下に於て緊張裡に開かれた、擧國一致と庶政一新を目標とする廣田內閣に對し過般の總選擧により相當の新味を加へ且つ非常時局に當面して新らしき認識の下に立つてゐる政黨は今議會を通じ議會政治の確保と政黨更生を目指して如何なる程度に鬪ひ得るか國民の重大なる關心の焦點となつてゐる

御盛儀を偲びまつる 「御訪日印象謹記」

今日は最初の「御訪日宣詔記念日」である

謹みて回顧すれば康德二年四月滿洲國皇帝陛下が尊貴の御身をもつて御自ら萬里の波濤を越へさせ給ひ、盟邦日本を御訪問、日滿兩國史上に燦として輝く嚴肅なる日本皇室との御交驩を始めとし奉り日本朝野との御意義深き數々の御交驩を遂げさせ給ひ、更に御歸國直後の五月二日回鑾訓民詔書を御渙發以て兩國一德一心の精神を御發揚遊ばされてより既に一ケ年の歲月を閱した、その間兩國の國交は彌が上にも鞏固を加へ、且兩國民の關係は肉親的交誼にまで發展したことは今更贅言を要しないところである

思ふてこゝに至れば皇帝陛下の御訪日は秩父御名代宮殿下の御來滿と共に日滿國交に一大エポックを劃したものといふべく茲に制定最初の御訪日宣詔記念日を迎ふるに當り記者は一年前御訪日に從ひ奉り曠古の御盛儀を眼の邊り奉拜せる一人として數々の御行事の中、とりわけ印象の深かつた四月六日の東京驛頭に於ける兩國元首初の御對面並に四月九日代々木原頭にくり展げられた奉迎特命觀兵式の莊嚴極まりなき二つの場面を謹記し奉りて、けふの記念日を壽ぐことゝしやう

東京驛頭の盛觀
兩國元首固き御握手

四月六日滿洲國皇帝陛下の晴れの御入京に先立つ午前十時日本全國及び滿洲の各新聞通信社より特派された記者團及び護宮國數十名は皇帝橫濱港より御安着の報を聞きつゝ當局の指示を受けて東京驛ホーム定めの位置に整列時の移るを待つた

〃〃〃 此第一報 こそは日滿兩國一億三千餘萬の蒼生が鶴首待望のビッグニュースであり從つて各社記者の神經アンテナの如く銳敏となり、又一刻も他社に先んじて速報せんとする鬪志に燃え曾つて無い緊張せる空氣を漲らせてゐる、一方JOAKでは全國の聽取者に實況中繼放送すべく御召列車到着線にマイクを据付けて選り拔きの松田アナウンサーが此前代未聞の實況放送を前に滿を持して之も記者團に劣らぬ緊張振りを見せてゐる

昨日から晴れたり曇つたりのお天氣は東京市民をハラハラさせてゐたが、此日は太陽が高くなるにつれて四月のほの白き陽光燦々として輝き藤原博士の豫報正に的中、全くの皇帝御訪日日和となつた驛ホームはと見れば塵一つない迄に清められ折柄の春のそよ風に打水の跡も一層清々しい

御着豫定一時間前既に岡田首相以下各國務大臣、牧野內府松平式部長官を始め滿洲國ゆかりの芳澤元外相等の顯官、丁公使以下在京滿洲國使臣等が大禮服に容儀を正し踵を次で入つて來る

〃〃〃 次で最初 に御閱兵の光榮に浴する近衛儀仗兵は軍旗を捧持しつゝ規律正しく入場整列、莊重な奉迎意識が現實のものとなつて人々の胸にこみあげて來る、かくするうちに緊張の時は進み皇帝御着十分前の十一時二十分

畏くも天皇陛下には友邦元首御出迎へのため鈴木侍從長、本庄武官長等を扈從させ給ひ鹵簿にて東京驛に着御あらせられ一旦便殿に入御、御先着の各皇族殿下と御對顏の後君ケ代奏樂裡に最敬禮奉迎の群臣に御會釋を賜はりつゝ玉歩をプラットホームに運ばせ給ふ、かくて十一時三十分日滿兩國旗を飾した宮廷列車は東京驛にすべり込んだ、肅然として聲なき中を秩父宮殿下に續かせられ皇帝陛下には眞紅の絨氈を敷きつめた步廊の上に降り立たせられた

仰げば皇帝陛下には陸軍御正裝にて御胸間には日本皇室より御贈進の大勳位菊花大綬章を始め滿洲國最高勳章並に多難なりし歷史を物語る建國功勞章を帶びさせられ、長途の御疲勞の色も拜せず天皇陛下との初の御對顏の御喜びに御氣色殊の外御麗はしく拜せられるのであつた

〃〃〃 この時！ 陸軍軍樂隊は嚴かに滿洲國歌を吹奏し嚴肅の氣胸に迫り、奉迎の諸員日滿親善の彊き現はれに感激、一齊に頭を垂れる裡に畏くも天皇陛下には皇帝陛下の前に玉歩を運ばせ給ひ、秩父宮殿下の御紹介原田宮內省御用掛の御通譯にて御固き御握手を交させ給ひ御遠來の勞をねぎらはせらるゝ御言葉に對し、皇帝陛下には晴れやかに御答禮、此處に日滿兩國元首の初の御會見を終らせられたが、日滿兩國元首御會見のこの御模樣こそ曠古の聖儀歷史的御情景として日滿兩國民に深き印象と感銘を殘した

次いで天皇陛下には各皇族方を順次御紹介あらせられた後天皇陛下、皇帝陛下御同列にて有資格奉迎者並に儀仗兵に御會釋を賜りつゝ玉歩を地階段に運ばせられた

遙かにこの光景を奉拜せる記者の胸底には日滿兩國の永劫變らざる親善關係そのものゝ姿が強く燒きつけられ萬歲の聲が思はず口をついて出るのであつた、皇帝陛下乘御の公式鹵簿は行列美々しく御旅館赤坂離宮に向つたのであらう東京驛前よりは市民歡呼のどよめきが高くひゞき渡つた

特命觀兵式に 兩陛下御同列臨御

四月九日午前九時廿分善隣友邦の元首を迎へ奉り天皇陛下臨御の下に特命近衛師團觀兵式が擧行された

此の 日も朝來雲低く垂れ測候所では曇り後雨の豫報さへ出してゐたが天佑といふか今にも落ちさうな空模樣が開式直前からほのかに陽光さへ雲間に輝き市民は皇帝陛下の御天候に惠ませられる御德を讃えると共に天が日滿關係を守つてくれたものだと欣喜した、記者は前日同樣報道の職務を果すべく定刻前代々木原に詰めかけ奉拜者に混つて開式を待つたやがて此の榮ある參加部隊近衛師團各兵科の精銳一萬五千は諸兵指揮官朝香師團長宮殿下御指揮の下に早朝より式場を圍んで整列、又この日の陪觀者は岡田首相以下各閣僚、貴衆兩院議員、滿洲國使臣等でこの外この盛儀を拜觀せんと無慮十七萬の東京市民がさしもに廣き練兵場を人垣を以て埋め天皇陛下、皇帝陛下の臨御を御待申上げた、時に九時卅八分、天皇陛下には陸軍御正裝も御凛々しく本庄武官長以下を從へさせられ諸員奉迎君ケ代吹奏裡に式場に着御先づ便殿前の露臺に出御あつて諸兵指揮官の奏上する報告を御聽取遊ばされ便殿に入御の上滿洲國皇帝陛下の御着をお待ち遊ばさる

やがて同五十分秩父宮殿下と御同乘の鹵簿に召された皇帝陛下には陸軍御正裝にて滿洲國々歌吹奏裡に式場に御着、天皇陛下に御對面御挨拶あらせられた後御揃ひにて儀裝馬車に召され秩父宮、閑院宮、梨本宮殿下、本庄、張兩國武官長、林陸相以下諸星扈從、近衛騎兵の捧持する天皇旗を先頭に步兵第一聯隊より順次御閱兵あらせられ各部隊は捧げ銃で一齊に敬禮した

次て 御閱兵終るや兩國元首は御共に便殿前の露臺に出御、此時諸兵指揮官の指揮刀一閃勇壯なる分列式は軍樂隊のマーチを伴奏に開始され、劍光帽影燦として旭日に映え軍靴の音高く皇軍の威容四隣を壓するばかり

皇帝陛下には精銳を誇ふ各部隊に夫々御擧手の禮を賜つた空には德川少將を指揮官とする新銳機八十九機大空を覆ひつゝ爆音と共に場の上空に飛來壯觀言語に絕する分列飛行を展開、地上には陸の怪物タンクが轟々たる響きを立てゝ勇しく行進し、空陸相呼應して昭和聖代に誇る軍國日本の一大繪卷を繰り展げるのであつた

奉拜者の中には多數の滿人も混り晴れの皇帝陛下の御英姿を拜して感淚に咽ぶ等幾多の劇的場面も見られたが、記者は一つの觀兵式を通じて日滿共同防衛の誓ひが愈々固かるべきを思ひ拜觀者と共に感銘深きものがあつた

掏摸も暗躍 競馬場明暗鏡

穴だ、ガラだと、一攫千金の夢に憑かれた人々で毎日ゴッタ返してゐる競馬場は、此等牛狂亂ファンの懷を覗ふ掏摸の暗躍場所にもなつてゐるが昨日まで新京署に屆けられたものゝ中には生き馬さへも加つて、競馬色風景を濃彩してゐる

▲富士町二丁目十二番地の家主人楠野權一氏（五五）は去る二十三日午後一時ごろ馬券賣口で洋服上衣ポケット內に入れてゐたウォールサム製丸型金側時計時價百圓、金鎖一個時價五十圓を盜まれた▲朝日通り七十七番地新田爲之助氏（四〇）は二十九日午後二時二十分ごろ競馬見物中チョッキのポケット內に入れてゐたエルヂン製片蓋十五型金側時計時價八十圓、金鎖時價五十圓をとられた▲新京大房身競馬場厩舍七號小野好藏氏（四二）が管理してゐた二、三日前俱樂部で五百圓で購入したロシヤ馬と支那馬の混血馬（名稱ナシ）を厩舍十號の十六番に繫留してゐたのを廿七日午後十時から二十八日午前三時までの間に何者にか盜まれてゐたのを發見大騷動を演じてゐる▲崇智胡同六百號豐島實氏（四〇）は二十六日午後二時四十分ごろ競馬見物中に國幣、朝鮮銀行紙幣取混ぜ八十餘圓入れてゐた財布を上衣ポケットからすられた

優良建築物審査終る 九日表彰式擧行

既報國都建設局では國都に於ける優良建築を表彰する爲國都優良建築獎勵委員會を設け去る二月先づ第一回審査委員會を開催詮衡の結果この程漸く國都建設開始以來康德二年末迄に國都建設計畫地域內に竣工せる民間建築物優秀六件優良四件、佳良七件の決定を見、愈よ來る九日午前十一時より同局に於て表彰式を行ふ事となつた、尚將來は全滿の優良建築物に就ても審査表彰の方法を講ずる豫定である當日表彰される建築物左の如し

▲優秀 丁鑑修氏住宅、直木倫太郎氏住宅、原口忠次郎氏住宅、難波經一氏住宅、朋友ビル、三菱康德會館▲優良 穂式穀氏住宅、西田猪之助氏住宅、依田四郎氏住宅、飯津重一氏住宅▲佳良 迫喜平次氏住宅、壽聿彰氏住宅、松田令輔氏住宅、日田次郎氏住宅、毛里英於菟氏住宅、中央飯店、一郡ビル

黑須少佐來社

新京警備副官步兵少佐黑須源之助氏は一日着任挨拶に來社した

支那駐屯軍司令官親補以下 陸軍異動發表さる

【東京國通】田代中將の支那駐屯軍司令官親補以下陸軍異動は五月一日附を以て左の如く發表された

第十一師團長 中將 田代完一郎
補支那駐屯軍司令官

支那駐屯軍司令官 中將 多田駿
補第十一師團長

京城憲兵分隊長 憲兵少佐 五十嵐翠
補善通寺憲兵隊長

東京憲兵隊附 憲兵中佐 須藤裕
補橫濱憲兵隊長

步兵第廿一聯隊副官 步兵少佐 山口巖
補步兵第廿一聯隊大隊長

步兵第廿一聯隊附 步兵少佐 竹之內嘉太郎
補步兵第三十九聯隊副官

步兵少佐 加村旭
補第十師團司令部附

步兵第十七聯隊大隊長 步兵少佐 鷲尾正雄
補第十六旅團副官

步兵第十七聯隊附 步兵少佐 林勇藏
補步兵第十七聯隊大隊長

第十九師團兵器部員 砲兵少佐 松村精
補橫須賀重砲兵聯隊大隊長

野砲兵第三聯隊附 砲兵少佐 赤木周陸
補野砲兵第十聯隊大隊長

野戰重砲兵第三聯隊附 砲兵少佐 松山茂樹
補野戰重砲兵第三聯隊大隊長

工兵少佐 松友濱次郎
補電信第一聯隊大隊長

田代新司令官は部內有數の支那通

【東京國通】支那駐屯軍司令官に親補の田代完一郎中將は佐賀縣の出身、士官學校十五期生で明治卅七年步兵少尉に任官、陸軍大學を終へ累進して參謀本部、支那課長、步兵第廿八旅團長、支那駐在武官上海派遣軍參謀長、關東憲兵隊司令官を經て昭和九年八月憲兵司令官、同十年九月第十一師團長となり今日に至つたものである、日露戰役の功により功五級を賜り更に滿洲、上海兩事變の功により旭日重光章功三級を賜つた、陸軍部內有數の支那通である

秩父宮殿下の御下賜金で 陸上競技會開催
新京驛三係對抗戰

新京驛では一昨年秩父宮殿下御來滿の節賜つた御下賜金を有意義に使用するため五月三日午後一時より西公園に於て旅客係、運轉係、貨物係の對抗陸上競技を行ふことゝなつたが競技種目は百米、二百米、圓盤投、砲丸投、高飛等十一種目に亘り旅客係柴屋、運轉係山口、貨物係上野各主任がそれぞれ監督となり霸を爭ふ筈である

決定した公會堂五月の番組

春酣と共に新京記念公會堂の使用は漸く輻輳を極めてゐるが今までに決定した五月中のスケヂュールは左の如くである

▲一、二日藤浪會勢好會溫習會▲三日兒童愛護週間子供大會▲五、六日浪曲廣澤虎造▲七日電業公司社葬▲八、九、十日すわらじ劇團▲十一、十二日勝太郎、德山璉、小林千代子一行▲十三日五九郎準備▲十四、十五六日曾我廼家五九郎一座▲十七日川崎門下琴溫習會▲十八、十九日八千代館廿周年祝會▲二十、二十一日浪曲艦中齋虎吉▲二十二、二十三日擧國大會▲二十四日放送局子供大會▲二十七日海軍記念日▲二十八日花祭り▲三十一日黎明會舞踊發表會

森重拓政司長 五日着任

民政部拓政司長に就任する前拓務省東亞課長森重干夫氏は五月四日大連着直ちに北上する豫定で、新舊司長の事務引繼ぎは六日行はれる筈である

軍用犬協會支部 第二回登錄犬審査

滿洲軍用犬協會新京支部では三日午後二時から市內室町小學校々庭で會員犬の野外訓練指導を行ひ引續き支部會員犬の第二回登錄犬審査が行はれる、當日は多數出場されるやう希望してゐる

谷口慶弘氏來社

首都警察廳警務科長から濱江省公署警務科長に榮轉の理事官谷口慶弘氏は一日暇乞挨拶に來社した、同氏は來る四日午前九時發列車で赴任

羽牟眼科醫全快

さきに靑陽ビル二階に開業した羽牟眼科醫院では院長醫學士羽牟武志氏病氣のため休診中のところ最近全快したので五月一日から診療を開始した

〃寄附〃

市內三笠町三丁目康生醫院古市利津さんは故古市實喜氏三年祭に際し一日地方事務所を訪れ新京報公會へ金五十圓、新京警備團へ百圓、新京在鄉軍人會へ三十圓、新京神社へ三十圓をそれぞれ寄附した

松澤大尉令息

關東軍司令部新聞班松澤恭平大尉令息良行君（四）は滿鐵醫院に入院加療中のところ一日朝逝去した、葬儀は二日午後四時から市內曙町四ノ四大正寺で執行される

探偵小說 殺人技師

（撮影上映）　森下雨村　茅場棐水畫

八三　第二の殺人（三）

『さう、ぢや、あたしが代りに訊いてあげるね。』

お繁はさういつて電話口へ出ると、

『あ、もし〳〵、川端さんですね。御主人でゐらつしやいますか。こちら內海耕太郎の代理のものでございますが――えゝ、內海耕太郎です、御存じでゐらつしやいませう。』

『あゝ！內海――內海耕太郎君ですか？』

何故か川端哲哉の聲は、どきりとしたやうに顫へた。

『えゝ、その內海の代理のものでございます。いつぞやは大變御厄介になりましたさうで、そのことについて一寸お訊ねしたいことがございまして、電話では失禮だと存じましたけれど――』

『いや、何――で、一體どんなことでございませうか？』

川端の聲は、何故かおど〳〵として煮え切らなかつた。

何かしらひどく狼狽してゐるやうな氣振が不明瞭な電話の線を通して感じられるのだつた。

お繁は、しかし、一向氣にも止めず、

『あなたも御存じと思ひますが內海はあれ以來、大變困つた立場にあるのでございます。で、それを切拔けるには、どうしてもあなたのお力にすがるより外に途はないと申して居ります。つまり、』

と、お繁は急に、言葉に力を入れると、

『內海をさがしてゐたといふ依賴人――何ですか、內海の伯父さまなんださうでございますね。その人の名前をお聞申してくれと、內海はから申して居るのでございますが――』

お繁はそこでふと言葉を切ると相手の返事を待つた。

しかし、どうしたものか、暫く返事は聞とれなかつた。

『もし〳〵、あ、もし〳〵。川端さん？あゝ、そこにゐらつしやいましたか。無論、あなたの方には依賴人とのお約束もございませうが、その方のお名前をおうかゞひしても、決してあなたに御迷惑をかけるやうなことはいたしませんから、どうか是非――。』

『あゝ、その依賴人でしたら――』

その時、ふいに相手の聲が、電話口で痙攣するやうに聞えた。と思ふと、

『何をする！』

と、いふ聲が押へつけるやうに響いて來た。

そして、それつきりぷつつりと後が途切れてしまつたのだつた。

『あゝ、もし〳〵、その依賴人は？』

お繁はいら〳〵しながら噛みつくやうに電話口で叫んだ。が、自分の聲が跡切れた途端、彼女は受話器を耳に當てたまゝ、ぎよつとしてその場に立ちすくんでしまつた。

しんと靜まり返つた電話の向ふから、何かしら人の呻き聲のやうなものが聞えてくる。それに交つてがた〳〵と荒々しく卓子の抽斗を引かき廻すやうな音がする――

『もし〳〵、もし〳〵。』

お繁は夢中になつて、電話口に武者振りついた。何か電話の向ふで起つてゐるやうな氣がする。依賴人の名前が今一息で聞かれようといふ間際になつて、何か尋常でない、とても恐ろしいことが突發したやうな氣がする――。

『內海耕太郎の代理かね』

その時になつて、ふいに、今までとは全く別な聲が聞えて來た。それは、何だか、濁い布でも通るやうな不明瞭な低い呟きだつた。

『あつ、左樣でございます。あなたさまは――？』